

がなかった。校内にいる時はそうではないが、校外にでると内弁慶の生徒。そういうことから、もう少しうちの生徒を中学の方に理解してもらいたい。そして生徒が中学の先生をこわがっているというか、けむたがっているというか、そういう時に、母校の中学に元気な様子で行く機会もあった方がいいのではないかと。それと他に中学校と本校の生活指導が話し合うという中学訪問もありましたね。まあいろいろとある折から、体育とかねて本校の生徒をみてもらうという機会があったらいいんじゃないかというように、中学訪問駅伝を実施したのです。実施してみると全生徒が沿道に散らばったり、自転車で荷物を積んで走ったり、中学校では応接室を開放して、お茶を出してくれたこともありました。そして自分達の中学しか知らない生徒が他の中学校を知ることでもできた。おもしろい行事でしたが交通事情などで中止になりました。

**竹内** 吉田さんなどは中学訪問駅伝はどうでした。

**吉田** ぼくはあまり速くありませんでしたので選手ではなく、自転車で伴走しました。途中の中学校では窓から生徒が手を振ってくれ、楽しかったことを覚えています。

**竹内** 園田さんどうですか。

**園田** 私も遅い方で走っていませんが、母校の東住吉中学の門の前で待っていて、休み時間には在校生も応援してくれました。一度は走ってみたいなと思っていましたが、ずっと応援の方でした。けれど東住吉高校へ入学したことはよかったと実感しました。一つは体力体力で、もう一つ印象深いのは

万歳三唱でした。この頃は万歳ということをお聞きしないので、さみしい気がします。

## 万歳校長

**竹内** 堀江校長は万歳校長ですからね。随想に書いておられるけれど。随想を読ましていただいても、じめじめした気持ちをぬぐい去り、青年らしい気魄を養うという、きわめて簡単な一方途として、繰り返し万歳を三唱したとなっています。

**堀江** 霧ヶ峰の山の上でもやったなあ。

**保田** ああいうのは生徒は抵抗なくやっています。金剛山の上、霧ヶ峰の上はそうです。いちばんいやがるのは近鉄のホーム。

**堀江** やり直しさせたなあ。

**竹内** 大阪の町中では、照れくさいわな。

## 歩け歩け

**堀江** 戦前の日本の教育は芸術を軽視し、戦後の日本の教育は体育を軽視した。ぼくは中学校5年間、1週間に



普通体操2時間、柔道か剣道3時間で、冬でも毎日1時間は汗を流した。ところが戦後はそのようなことはない。そこでぼくは通学に歩かせ歩かせとか、金剛登山、キャンプ、水泳、1万メートルマラソンなど、およそ体力向上に役立つものは可能な限り全部した。1期生の有志は他に富士登山もした。特にぼくに強い印象を与えたのは東住吉ができて1、2年のとき、鹿児島先輩がきて、とにかく足をきたえろ。戦争に負けたとき、満州から逃げ返った鹿児島の女の子で、戦前の鹿児島女子師範を出た子は90%無事に郷里へ逃げかえった。ところが他の学校の卒業生は90%死んじゃった。鹿児島で師範というのは、週に1回5キロ

メートルのマラソン、1ヶ月に1回10キロメートルのマラソンをした学校だった。その卒業生はどんどん帰ってくる。このようなことは一生の中で1回はある。堀江君ぜひ足をきたえてやれということで、校長室で2時間、いろんな例をあげて。よしそれならぼくの校長時代に足をきたえてやれということで、足の力をつけるため全力をつくした。

竹内 金剛登山も河内長野から、往復歩き通しましたね。しかしこのごろはバスで千早まで行って歩くだけですな。

## 近畿一番になれ



山上 体力のことで、私も保田先生に陸上部を指導していただきました。高校へ入ったとき、やはり進学がありますから、保田先生に相談に行

ったのです。「勉強したい」そうしたら東住吉で一番になるより、大阪、近畿で一番になってみると言われて……。今から思うとかたやぶりの先生ですがね。そして亡くなられた肥田先生に私は1年2年と担任していただいた。相談に行きますと「それでいけ」と同じ意見を持っておられましたので、そしたらそれでやってみようと考えました。

竹内 そうすると高校として東住吉を選び3ヶ年間過ごしたことはよかったと思いませんか。

山上 他の学校と併願したのですが、先生にすすめられて、東住吉へ行けということ

### 逍 遙 歌



で来たのですが、現在東住吉高校をでて、非常にありがたいと思っています。

吉田 クラブのことで思い出しましたが、他校にないものとして、堀江先生発案の弓道などもありましたね。よく先生も弓をひいておられました。それから校歌の他に今は歌われなくなりましたが、鶴見先生作詞の逍遙歌もよく歌いました。

## P T Aの努力

竹内 今度はP T Aに話題を転じ、初期のころのP T Aの苦労話など、浅井さんいかがですか。

浅井 子供がお世話になったときの、33年と34年はたまたま樋口会長の時代で、2年連続会長で、私も新米ではありましたが、実行委員の一員として、いろいろ役員会にも参画しまして、それでようやく35年に子供が3年生になったものですから、会長を一度やれということで、樋口会長のあとを受けて、35年度就任したわけですが、35年と申しますと本校の開校5年を過ぎて6年目を迎えましたために、学校側の施設の面でやや軌道にのってまいりましたし、P T Aにしましても満5年がすんで、6年目ですから、比較的順調に推移し、これということではなく年中行事に従い、皆さんの教育方針に従ってやってきました。

## 食堂建設地

35年度は食堂が欲しいというお話ができましたけれど、食堂建設というのは大変でして、敷地は校内にするか、校外にするか。それも先立つものは資金です。そのころ前年度会長の樋口先生が農地委員会に関係しておられ、適当な敷地があればと探しておられ、たまたま校門を出たところに電波管理局があり、どこかに替え地があれば移るとい話し合いが、ぼちぼちでしていましたし、そして35年か36年になってから、替え

地があれば交換してやろうと好意的に御返答をいただきました。そこで皆様とともに食堂建設にとり組むことになりました。しかしいざ建築にとりかかると大変で、資金の面もありましたし。そうこうするうち、35年度はそのまますすんだわけです。

## みどり会

それとPTAを離れて3期生をおくり出して、同窓会も発展していますので、同じように父兄の卒業生OBの会を持とうじゃないかという前年度の申しおくりもありましたので、私の時代に何か一つ残したいと思ひまして、これがみどり会で、35年8月の夏休みごろに結成されたと思ひます。私達現役も仲間入りして、当時30名ぐらいたったと思ひます。4期生卒業の父兄を加えて、90名足らずで。

**竹内** あれはどのような趣旨でつくられたか。

**浅井** 東住吉の地元でつくって、将来とも会員間の子供の成長を楽しみつつ、旧交をあたためるといふ軽い気持で結成されて、それが今年18年になりますか。

**竹内** 現在は何名ぐらいになりますか。

**浅井** 現在は700~800人いると思ひますが、全部の卒業生加えたら何千人ですが、みどり会はあくまで有志の集まりで、現在も継続して、年に3・4回の会合を持っております。総会、新年宴会、秋のリクレーションも、リクレーションとか総会はPTAと合同で、みどり会は便乗させていただいています。結成したのが35年度と記憶しております。話をもとに戻しますが36年の会長は新野会長の4代目になりますが、就任されて、私も会計監査委員ですか、お目付役をおおせつかりまして、皆様と1年間過ぎたわけです。前年度から継続して、食堂建設が会合の都度でののですが、敷地はどうかかなるものの、建築は容易なことではな

いので、結局は翌年回しのかたちになりました。

## 緑友会館

たまたま36年の夏だったと思ひますが、府の方から道路敷地の資金が650万程交付されました。これをその資金としてもいいのじゃないかということで、大体具体化されましてね。



いよいよ食堂建設に乗り出そうと

いう原案ができ、最初3階建ともいえないから、さしあたり1階にして。それが実際に乗出したのは校長先生が御転勤の翌年です。37年の春です。たまたま堀江校長栄転と新校長をお迎えした。私今でも覚えていますが、御栄転の記念と新校長を迎えた一つの記念事業として、食堂建設をやろうということで、資金の見通しをつけ、突貫工事で37年度の年末でしたか、完成し、竣工式が1月でしたか、当時府下随一の偉容を誇るに足るものでした。他府県からも見学に来て、驚嘆されていました。

**竹内** 名称も公募して、その中に「オアシス」「若草会館」、初代校長をしのんで「がま食堂」などの珍案もありましたが、結局はスクールカラーをあしらった「緑友会館」となりました。

**保田** 食堂の2・3階はいつでしたかね。

**浅井** 37年度は1階だけ、将来は上に乗せるということで、基礎工事はしてあった。

1階は調理場も全部100坪ぐらいたった。2階、3階は40年位です。

## 合宿所

**竹内** 菊池校長も最初に言われたが、緑友会館の建設の将来の構想はどのようになっておるのですか。

**菊池** 3階は合宿所で、奥にベッドができ



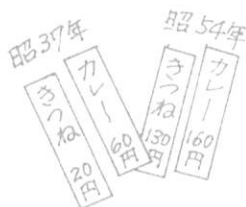
て、手前は畳で、2階は3/4ぐらいを資料室として残し、そしてトイレと一部適当な広さに同窓会の会議室をつくり、2階のあまった所はどうなるか、まだつめていません。まだ3年ぐらい先になると思います。

## 体力強化

**保田** 当初の目的が同窓会館、それと合宿所の目的でつくられた。これを作るときにも、堀江校長に盛んに合宿所がない、そのために高い費用出して、遠くへ合宿に行かねばならない。クラブを強くするには合宿所を建てなければならない。それでぜひ合宿所を作って欲しいと言ったんです。それでクラブの強化のため合宿所、それに同窓会の会議室をと発足したのです。だから芸術科に転用するとき、私一人が反対したけれど。結局大勢上そのようになってしまった。どうしても合宿所をつくりたい。それが私の念願です。それで菊池校長にもお願いし、校長もスポーツに関しては、理解をお持ちになっておられ、それはいいだろうということで、あれが初め通り教室外のものとして使えるときがきたら、記念事業の費用で同窓会の部屋と合宿所の本来の姿にかえしたい。本来の主旨にあわせて思っています。

**浅井** あの建物の第一期工事のとき、土地、建物の管理、維持費や修繕など後々困まるので、1月29日の落成式の折、府へ寄付してしまった。PTAの持ち物じゃないから府からどんどんやっていただいてもかまわないと解釈しています。

**保田** 校舎が建築されて芸術科が移



動する段階で、改装費程度は府から出してもらおう。機材まではとても無理だが。

**竹内** 今の在校生はいきさつも知らず食堂を利用しているが、一つ食堂をつくるにもいろいろ御苦労があったわけです。7期生のころの食堂のようすは。

**泉田** 7期生の3年生のとき、きつねうどん20円だったと思います。今は。

**吉田** 130円です。

## プールできる

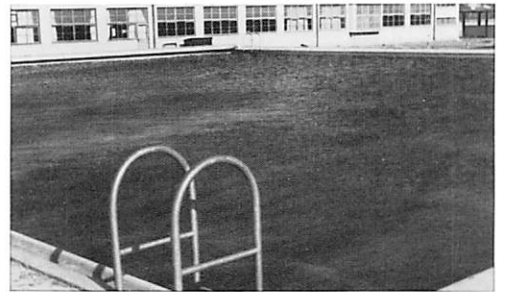
**堀江** それから保田さん、プールの話ね。コースいくらにするかでもめたでしょう。

**竹内** ああプールの話ですか。はじめうちの学校はプールがなかったわけで。あれはいつ出来ました。

**保田** 35年ですね。失業対策事業ですからね。

**竹内** その間のいきさつなんか、ちょっと概略的に。

**保田** とにかくあの頃はまだ戦時中のものの考え方のあとをひいて、国民皆泳という



んですか。そういう精神がいまだに、相当な年齢の人には残っている時代でした。だから「水泳はどんなことがあっても、やらないかん」とまあそういうことで、当初は1期生はナンバプールで水泳訓練をやったんです。そして2期生は天王寺高やったかな。

**園田** 二色の浜へ行きました。

**保田** 二色の浜へ行く前に天高へ行ってると思うなあ。すぐ海へつれて行くことはなくて、そのあと二色の浜とか、3期生の淡

の輪とか、4期生の洲本とかいう風な水泳訓練を実施しつつ、プールの建築を呼びかけている。その時たまたま失対事業というのが、府の教育委員会の方に入り込んできた。その当初ですね。それで失対事業でグラウンドとプールを造ってやろうじゃないか。失対はまだプールを造ったことのないときでした。それで失対は技術がないので最低規模のものしかできない。それでは府は6コース、水深1m10cmのプールを造ってや



ろうといってきた。そこでで学校長に言ったんです。1m10cmのプールみたいなもの、とび込んだらおでこすりむきますよ。せめて1m30cmはなくては。うちは当時8クラスありま

したので、級対抗するにも8コースは欲しい。何とか1m30cmぐらいで、8コースで進めてもらいたいといいました。失対の方でそれではというので、計算したところ、とても失対の能力からすれば、水压に耐えられるだけの鉄骨の強度やセメントの厚みについて自信がない。保田君こういうとると校長さんが言われました。それだったらぼく交渉に行きますから顔つなぎだけして下さい。校長の立場だったら言えないこともあるでしょうから。ということで、校長と一緒に何回か、施設課営繕へ行きました。さんざん交渉しまして、8コースをのんでもらって、作ってもらったところ、案の定すぐ亀裂が入ったりいろいろしたんです。けれどどうにか8コースのプールができました。そのあと三国ヶ丘なんかでも失対のプールができましたね。ただどもその当時はプールのいれものだけを作るというだけで、シャワーの設備とか、更衣室の設備とかいうものまで、なかなか手がまわらなくて、裸のプールだけを作ってもらった

わけです。ところがそのプールが当時は有効に使えたんですけど、今では非常に重荷になって居るのです。今校舎の改築の問題が起っていますので。まあ当時はそういういきさつで、250mトラックとプールを失対で作ってくれたのです。で私もプールならびにグラウンドを作るときには、丸一年間麦藁帽をかぶって、シャベルと金の巻尺を買ってもらいまして、全面的に失対とお付合いをしていました。あれは34年の9月から始まりましたね。

## 真中を道路が走る体育館

堀江 プールの他に直接保田君の関係したのは体育館ですね。体育館建てたとき、夏休みで、教育委員会の講習で、一週間かしら高野山へ行っていたんだ。そしたら亡くなった事務長ね。「校長えらいことや工事中止せよいうとる、帰ってこい」「ぼくが帰ってもしょうがない。とにかく樋口さんにだけ報告しておいてくれ」と言った。樋口さんが「校長明日暇あるか」ということで、あのとき樋口さんは市会議長やった。平野土地整理組合へ行行って、ぼくが2時間程なんとかしやべっている間、ついて行ってく



れたのはいいけれど、樋口さん何も言わず、後で煙草ばかり吸うてた。この人何しに来たのかなと思っていた。そしたら向うの事務長が「とにかく善処しましょう」と言ったら、樋口さんがポンと肩をたたいて「校長さん帰りましょう」「ありがとうございました」と言うて帰った。その後のやりとりは樋口さんがやってくれて私等は知らんです。

竹内 そういう事情があったんですか。

堀江 最終的には樋口さんと平野土地整理組合の事務長との協力で体育館が建ったのです。図面の上では体育館の真中に道路が通っていることになっているんだ。

保田 農道ですね。

竹内 なんか平野は地図がややこしいですからね。

## P T A 援助

保田 先程竹内さんから、P T A の御苦労というお話があったんですけど、私いまだにいちばん有難いと思っていることは、P T A からいろいろ援助していただいたことです。教科指導や運動部指導の研修などを思う存分やらしていただいたのはありがたいと思っています。

浅井 おそらく今先生のおっしゃるように開校4～5年の、私今でも時々思うのですが、初代30、31、32年の片岡会長、33、34年の二年間の次の樋口会長の4～5年の御苦労は、開校当時の過渡期ですからね。随分御苦労が多かったと思います。そのあと私は35、36年とお陰で楽をさせてもらったわけで、初代会長、二代目会長は堀江校長と共に我々の想像以上の御苦労があったと思います。

堀江 あの当時ずいぶん浜田さんにやられたよ。学習費が高いと。でも「任す言ったやないか。任す言うた以上任してくれ。P T A から文句が出るのは止むをえない。樋口会長は結構や言うてる。あんた何文句言うてるんや。」あの時府立高校の中でP T A 会費いちばん高かったんですね。

## 回 転 焼

保田 だからね、私なんか運動だけやってたらええんやと思って、試合の前には職員会議に出ないこともありました。それでもね、グラウンドに居て生徒と一緒にやったら、職員会議終わったところに、学校長堀



江さんフラーと来て、「保田君やってるかね」そしてまあ一人一人の生徒に皆「元気かね」言うて「あとでこれだつてくれ」言うてお金を。それで回転焼買

いに行きまして、生徒と一緒に食べながら練習するというようなことがありました。まあ非常に小さな職員室で、わりかた小さい世帯で職員会議なんかサボれないような世帯でしたけれども、それぞれに持場があり、疎通の道は他にありましたので会議にたまにでなくても、先生方にわかってもらえるし、理解する方法もありましたので、大体うまく行ったのです。

## 就職生の売り込み

竹内 ぼくはまあ初めのころは、就職の方をずっとやって居たのですが、堀江先生に言われて、学校の名前をおぼえてもらわなくてはと言うことで、ずっと会社まわり。2年目は岡田先生と100社くらいまわりまして、「住高ですか」「住吉中学ですか」とか、そんな調子でした。大阪市内の府立高校で100名以上(1期生～3期生かな)就職希望者のある学校なんて、府立高校でないですよ。最高でした。それを売り込んでいかなければならない。そのころは不景気というか、いちばんいいところで、銀行、デパート。そこへ押し込んで行かなくてはならないということで、大変苦労しました。けれど就職した生徒の評判が良くて、あとは調子よくいった。何かにつけてつくり出して行くその中心には、比喩的に言えばゴッドファーザー的な堀江先生が居られて、周囲の先生が拡張してゆくというやり方でした。それがだんだん規模が大きくなると従来のようにはゆけず、近代的になってゆくわけ

です。初期は体育館とか、プールとかいろんな面で生徒諸君の知らない人々のお力ぞえがあったことと思っておこされます。

## 大阪へ行くか

保田 それから生徒がまあ田舎の子が多かった。ナンバへ行くのに「大阪へ行く」と言っていました。当時の子ね、平野あたりの子ら、みな「大阪へ行くか」というように。その当時文化部の主催か、国語科の主催かなんか、文楽座かなんかに行きましたからね。道頓堀で迷い子になってしまう生徒があったり。帰るバスわからんで日本橋のあたりウロウロしてる子、いました。そんなところで、入試なんかで、こんなやったら試験場によく行くんやろうか。みんな得手わけして試験場へね。入試の時行ったですよ。私ら同志社へ行ったのです。入試の時に先生等全部で手わけして大量に行く学校の試験場について行きました。そして生徒皆集めてこう……「おい、がんばってこいよ」と言うて、一時間すむのじっと待って「おい、出来たか」と励まして帰って来た。それくらい生徒が田舎者でした。

## 生徒気質

竹内 いま話の出た文楽座の前で泣いている生徒がいたというのは、ぼくの級で2期生の女の子で、「何で泣いてるんか」と聞いたら「どこをどう行ったら帰れるかわからん」ということで、こういう風に純朴な生徒だったわけです。

保田 まだ地下鉄が上走っていましたね。昭和町の辺の上があいてて。

## 文化クラブ発表会

竹内 このように校舎もボチボチできてきて、例えば2期生は家庭科教室の恩恵を受けていなかった。

さて初期のころの文化祭、体育祭を中心

に学校生活にもどります。文化祭については、最初のころ、ぼくが顧問でよくわかっておるのですが、最初は文化祭ではなくて文化クラブ発表会だった。文化部が中心でやっていた。今だんだん変化してきて、学



校全体の行事と  
なったのですが、  
少なくとも西塾  
さん等のところと  
今とはずいぶん  
かわってきた

と思います。皆さんも卒業され、外から御覧になり、あっと思われたこともあるでしょう。その辺のところどうですか。保田先生ずっと御覧になってどうですか。最初は150人の生徒がわびしくやっておったのですが、10周年ぐらいで、どうなっていましたか。

## 体育祭

保田 当初は体育祭でなく、陸上競技大会でクラス対抗でした。2期生が入ってきた段階で、縦に同じ色で分けし、形式においては今と同じ様式でやってきたのですが、中味が非常に楽しい競技大会でした。当初プログラムを作るのに、苦労しました。1人で最低3種目、個人1つ、団体1つ、それから何かもう1つということで、プログラムを組みました。

私はプログラムづくりのさい1人ずつの名前を3回記入したのを覚えております。そして競技会には先



生方も参加され、円盤を投げたり、走ったり途中で転んだり、楽しい競技大会でした。応援も竹内先生など生徒と一緒になされた。それから応援席は平面的でただバックボードだけは当時からつくりました。それからアーチ型の門。その程度のことをしながら、



生徒に日ごろ鍛えた体力を発揮させ、そして団結させる。それと上級生、下級生のつながりを大切にさせた。このつながりはいまだに続いているわけで、このことに関しては在校生も喜んでいきます。内容的には練習時間がない、体力があるなどで、生徒のいやがる種目が段々減ってきました。5期生ぐらいまではマラソンも入っておりまして、放送部の子が自転車にのり、学校に経過報告をし、グラウンドにマイクで「何色の誰がトップ」と放送する。こういう工夫をこらして、大和川の堤防をずっと回ってきました。種目的に豊富だったのですが、それが段々フェスティバル的な方向へ変わっていきました。

## スタンドできる

そのころちょうど学校の建築工事がありました。平面的に応援するよりもスタンドを作ったら、面白いのと違うかということで、建築会社の使った丸太などを借りてスタンドを作ることが可能だという話ができました。建設会社の社員で好きな人がいて、丸太の組み方や締め方まで教えてくれた。そして仮設スタンドができ、そこで応援するというようになりました。それで建築にたいへんなエネルギーがいる。そして今度は段々装飾もはでになってきて、平面的なものから、立体的なものに変ってくる。そうするとそれの方がおもしろい。それまでは自分の種目を練習する。ムカデ競争などはチームが集って練習をする。あるものは準備の方の仕事をするというぐあいでした。

それをするよりもスタンドを建てる方がだんだんおもしろくなり、建築や応援の練習をするようになりました。スタンドにいる全員が応援するという形態から、応援の係の子だけ応援するというように、主旨がだんだんと変化してきて、今の状態に至ったわけです。

竹内 35年には同窓会から、優勝旗が贈呈されていますね。泉田さんの時代はどうでした。

泉田 そうです。スタンド作って、毎日朝の4時頃からきて。



竹内 でき上がったら、感激して涙がなすという。園田さんや西埜さん、山上君最近の体育祭みられたことありますか。

山上 みました。

園田 ないです。

西埜 近くにいならないです。

竹内 山上君はどうですか。君達のときに比べて、どんな感じを受けられましたか。

山上 やや素朴さが無いような気がして、形式に流れてるという感じですね。

## 創設期の思い出

竹内 塚本先生、その他創設当初からいらしゃって、どのようなことをお感じですか。

塚本 うーんまあねえ。こうしていろいろお聞きしまして、過去に比べて今ものすごく隆盛ですわねえ。1期生の人とよく話をするけれど、聞いてみるとそろそろ子供さん達が東住吉へ来る年齢で、うちの子東住吉受けられるかどうか、心配している年齢ですね。今昔の感深いという感じがします。まあ学校でできた当時について、そうですね。今だったらいれものちゃんと作って社会の要求で学校ができるという。当時はそうではなくて、できた背景が違いますね。



ずいぶん苦労なさって、とにかく東住吉区を文教地区にしようというようなお考えもあったんでしょうし、地元の熱意によってできたわけで、いれもののない状態から発足した学校ですから、非常に1期生2期生諸君のあたり、勤労奉仕という形など共に苦労した思い出がいちばん深いですね。



## 学校へ草引きに

**堀江** 吉田君も草ひきやったでしょう。

**塚本** もっこかつぎから。

**吉田** 草引きやら、もっこかつぎね。あれやっぱり小規模であって3クラスしかなかったんですから。最初は校舎もなく、田んぼの真中でHの人文字を書き、航空写真を撮りました。それから新しく校舎が建って



運動場の整地をだいぶやりました。だから学校に対する愛着という

のは自然に芽生えました。それと今とずいぶん違うのは、先生方と家族的な交流ができて、1期生の諸君だったら大抵先生方のお家におじゃまして、お世話をかけたりしていると思います。同じ新設校でも、今の大規模校にはないよさがあって、幸せだったと思います。いろんな点で指導なんかも細かく受けられたように思いますし。

**堀江** だいぶおこられたよなあ。

**吉田** 特に摂陽校舎というのは教室が3クラスで、廊下をへだてて、校長室職員室ですから、もうこっち側でわあっとやると、すぐとんできて怒られるということがありました。

**保田** ゆれたものなあ。

## 初期の校則

**竹内** どうですか、はじめのころね、もとへ戻るけど、毎朝の朝礼、5分間スピーチ、長髪禁止とか、オーバを着てはいかんとか2km以内は歩けとか、そういうような、それは堀江先生や先生方がはじめから、るる述べられている精神で校則というのが作られたんだ。けれど生徒側からみて、特に吉田君や園田さんからみて、どういう感じでした。吉田君なんか丸刈りやったでしょう。

**吉田** ぼくは丸刈りに抵抗なかったですね。中には校長先生のところに行った人もありましたけれど。ぼくは3年間その上予備校へ行っても一年間丸刈りで通しました。



**堀江** ああ丸刈りで思い出した。川本君が生徒会の会長してたとき校長室へ来て、アメリカでは囚人だけが丸刈りです。そう言っておこってきたよ。(笑い)

**竹内** あれから資料みたら、34年に長髪になっているけれど、そこまで行くまでに園田さん、冬オーバー着たらいかんというのは抵抗なかったですか。

**園田** そうですね。自転車通学だったもので、今みたいな交通事情とちがいますからね。それでも学校のきまりでしたから、私は東住吉中学のそばだったんですけど、天気の日はいいのですけれど、雨が降っても絶対電車に乗ってはいけないということで、それが情ない時もありました。けれども自分の体に自信はついたようです。自転車ですらかった思い出はオーバーなしの寒さ。認めてもらえるのは紺のセーターをブラウスの上に、紺のチョッキでしたかね、

着てもいい。マフラーも駄目で、自転車に乗るときだけは手袋をみとめてもらっていたのと違うかしらね。スカートで黒の靴下にきめられて、木綿でなくてはいけないと。

## 勤評闘争

竹内 今だったら買えないな。(笑い) まあ当時の生徒はぼくらからみて、純朴であったし、学校のそういう精神が、堀江先生のモットーとされるたくましい自主独立の人間の育成と合致し、その線にそってずっと進んで来ました。3期生、4期生、5期生、7期生とだんだん世帯が大きくなり、教員もだんだんふえて来て、途中で33年~34年の大激動期があって、勤評があり、それから、1960年の安保、それにつれて学校内が揺れ動いていった。あの時、ぼくなんか、勤評のころはいろいろ堀江先生に迷惑をかけたんですが、まあまあ苦勞したんですが、あれはあれで、ぼくはよかったと思っているのです。堀江先生は堀江先生の信念で動かれ、ぼくはぼくの考えで動いて居た。考え方の違いだったんでしょう。そういう時でも、組合の先生方も、生徒は巻き込まないという方針で進んだ。ぼく自身思えばあのときは勤評のことに一生懸命になっていた……。とくに3期生なんか、そのまっさなかだった。あんな闘争はどうでした。生徒としては、何も案外感じてなかった。

西埜 そんなに深くは感じてなかったです

三先生全快 ね。

## 勤評闘争

去る2月12日勤評提出を延期してもらう。三先生全快、三先生全快が三先生全快の三先生はハンストに入ったが4日食病のため入院。先延滞料を心配させたが1週間もいううちに元気に退院された。何しろ若い先生ばかりで回復も早くさっそく授業をはじめるといふ熱意にも元氣が出ておられた。勤評という問題はさう早く解決しようないから1日も早く解決し平穏な学園に返る日は遠くではなさそうだ。

(34.2.25 東住吉高校新聞)

竹内 先生言わなかったからね。なるべく言わないようにしてたから。

西埜 それに竹内先生がそんなことに一生懸命になってはるの、

初めて聞きました。

竹内 園田さん、どう。

園田 その当時の三木先生とか、勤評だったんでしょかね。入院されましたね。

## 校長ハンスト

竹内 矢野さん、三木先生、松本さん、校長先生も、おれもやるって言われて。

堀江 竹内君、今だから白状するけどね。年末に夕陽の西君とこもやったから、どうせ東住吉もやるだろう、それで1月7日校医のところへ行って、やってもだいじょうぶかとみてもらったら「水さえ飲んでいたら40日だいじょうぶ」と言われた。よしそんならやったらとハンストやるの、こっちも待っとったからね。(笑い)

竹内 ぼくはあの当時、矢野先生と一緒に堀江先生のお宅へ伺ったことがあります。生徒としてはあんまり感じていなかったんだね。

堀江 結局は校医と養護教諭に、その当日血圧が高いといわれて、入院させられる一幕もあった。

竹内 あのころPTAの父兄でも集まってもらって、分会として説明会をしたりしましたね。あのときは激動期やったからね。でも生徒の方にはあまり影響なかったですね。

矢野 創立して間もないころで、先生方も一般にお若かったからね。したがって燃えさかったわけですね。でもそのことによって生徒諸君に竹内君が言ってるように、そう迷惑をかけたことはなかったね。さらに分会員と学校長、これは教育委員会の手先だという対立はあっても、人間的なつながりはあったんですね。

竹内 はあ、どちらかと言えば、ぼくらもつながりすぎて弱ってたわけですね。(笑)

堀江 正直言うとなあの年職員旅行あったでしよ。橋本君が今年だけは職員旅行止めよ

うと言ったけれど、今年やらなかったら、廃止になってしまう。どうしてもやろうと強引に言うてやった。大分橋本君に苦労させたけど。

## 御堂筋デモ

竹内 だからまあ初期のころはそんなで、安保のころは生徒でも御堂筋を歩くのに参加した時代だった。あれは何期生ぐらいになるかなあ。5期生ぐらいかなあ山上君。

山上 岸内閣のときですね。

竹内 あの時生徒は参加するな、ぼくたちだけで行くだと。ところが御堂筋歩いていたら、生徒が歩いとるわけ。そんな時代だった。

塚本 あれは5、6期生ぐらいやったなあ。

竹内 5期生の頃やね。全部歩いたわけやないけれど、組合の先生と生徒が歩いてるという今にして思えば、考えられんような時代やったですね。

堀江 まあ日本の激動期やったからね。

## ふりかえって

竹内 まあちょっと話は変わるけど、初代の生活指導部長は肥田先生なんですけれど、先ごろ亡くなられてまして、非常に残念なんですけれど、そのあとついで塚本先生が生活指導部長をやられたんですけれど、どうですか塚本先生1期生ごろから7期生までのざっとこう私が思うのは、初期草創期(牧歌時代)、勤評安保の激動期、高度成長期の体育祭なんかにみられるあんなかたち、それからしらの時代など、いくつかかわけられると思うのですが、ここは初期のころの方が集って居られるわけですが、どんなもんですかね。

塚本 そうですねえ。大きくわければ、竹内先生の言われたように分けられるでしょうけれど、まあだいたい30年代の方は我々と、あまり問題についての考え方というか

価値観がそう変らなかったと思いますね。ただども、それ以後、社会がいろんな方向において急変して、高度成長時代ですか。あれについては私たち、うらめしいなあ。あれがなければもう少し、正常なと言いますか堅実な方向に動いて行ったのではないかと思うのですがね。その点が残念だったという気がしますね。今はどうしても、しらせ時代ということになるんでしょうか。無反応といいますか。例えば霧ヶ峰へ今行っても、東住吉の生徒ここ2、3年知らんけれども、ニコウキスゲなんか見るなんていう気持ちですな。「また山歩くんか、しんどいね、やんべじゃ」そういう風潮のようですな。感動とか感激とかそういうものがあまりないのは残念な気がしますね。

## 踏みぬいた白鳥

竹内 さっき体育祭の話がありましたが、文化祭なんかでも、はじめ場所がなくて、



区役所の狭い講堂で、2期生の水田君の吹いたトランペットが鳴らなかつたり、曲は「勇士は帰らぬ」だったようですね。(笑

い)、或いは今の図書館のある所がバレーコートで、そこへテント張って、予餞会の時に、1期生の女の子が床をブスッと踏み抜いた。白鳥の湖でブスッと穴あけて、こけたとか。卒業式もああいうとこでやったとか。いろんなことがあってね。今になったらみんな昔話みたいになるけれど。

## 定時制拒否

堀江 それから定時制をもってこようという話があつて、それはほとんどないと断わったということもあった。

竹内 それは初耳です。それはどういうお

考えですか。

堀江 昼の態勢がきちんと固まったあとやったらいいけれど、それもまだできないうちにきたら、学校が混乱するばかり。天王寺のような既設校ならともかく、新設校に定時制をもってくるとは何事か。地元の人々には必ずしも喜ばれない意見だけれども、だいぶぼくの考えを押し通しましたよ。学校長が生徒の名前をおぼえられないような学校は学校ではない。一学年300人で900人の学校、これはぼくの信念だよ。だから受け入れなかった。

## 校長会食

竹内 ああそうですか、そのような生徒の名前を覚えるとか、接触を密にするというお考えが、校長と生徒との会食というようなことになったのですか。



堀江 そうそう。

竹内 あれは何期生までだったかな、西埜さん。

西埜 ええありました。

山上 いや、ぼくらもありましたよ。

竹内 5期生まで、どうやった感じは、堀江先生の趣旨はわかるけど。

山上 固くるしいみたいな感じですね。

竹内 めしまずかったか。

山上 いやそういうことはなかったですけど。(笑い)

堀江 おかげさんで、1期生2期生は大抵今でも顔覚えてるわ。

西埜 怖くてのど通らなかったです。(大笑)

い)

山上 昼食時に個人懇談してるみたいで、緊張しました。

浅井 有名な話だねえ。

園田 さっきも少し申しました長髪問題は私らの時に少しアンケートなんか、とりましたんですけど。その会食の時にうちは女子ばかりなんですけれど。ちょっとその話を持ち出しましたら、校長先生がすぐに「退学届の用紙に親から判もらって来い。校則に従えんものはどンドンやめてもらって結構」と言われて、怖いと思いました。

(笑い) 2、3人おこられましたかね。長髪がよいというのではなく、別にかっこうにこだわることないのと違うかというような意見が出たわけです。だけど校長がやはり乱れは、衣装、自分のみだしなみから出るものだ。僕の信念は変えない。と例の調子で、なんとか大きな声で怒られて、その話されてる内容よりも。校長は声が大きいのので、怖かったです。廊下歩いてても、一声ですつとすくんでしまうほど大きい声でしたからね。

竹内 あれは大体年に何回ぐらい回って来た。2期生位やったら人数少ないから、割に回って来たやろ。

園田 そうですね。週一回で……

保田 一回5、6人やったね、班単位やったです。

堀江 班でやったね。

竹内 その日はこうやった(小さくなるジェスチャー)

## えらいこっちゃ、休まれへん

園田 キャンプ終ってからはリラックスした感じで、お話しできる感じでしたけれど、なんか、校長先生小さい声でしゃべれないというか、そばでワッとと言われるから、「バンザイ」と「ワッ」とで、「ホラ次来るっ」って行って耳ふさいで(笑い)

保田　そら生徒だけちがうよ。怖い。ほくらでも1日休んだら、見舞に来られて、心配してくれはったんやろうけれど、「こらえらいこっちゃ、わあえらいこっちゃ、休まれへん」いうて、翌日あわてて出て来たことあるけどね。そらね、生徒も人数少ないから、みな覚えておられたけどね。職員も人数少ないからね。10人程が一部屋にいるから、窮屈で。

堀江　よう歩いとったもんなあ。

保田　校内うろうろしやはるやろ、どこにおってもぶつかるやろ。

## 先生と家庭の方針一致

竹内　園田さん、ほかに何かどうですか。



園田　卒業してからかなり経った今も学生時代のことが思い出されます。たまたま私の育った家庭の環境と校長先生や先生方の教えが一緒だった。それで先生方

と抵抗がなかったのです。スパルタ教育的な校長先生に感じられた。固くるしい中にもやさしさというのが全部の先生にあり、担任で竹内先生と岡田先生に二年間習ったんですけど、竹内先生が勤評に反対しておられるというのも、私が卒業してから組合関係で御相談に行って、はじめて判りました。教育と自分らの思想的行動を別箇にされて教育なさったのは立派だと思います。竹内先生をはじめ先生に対して、私等の時代は尊敬の念がありました。今の方が聞かれたらびっくりされると思うんですが、この間も言ったんですが「竹内先生、お酒飲まれるんですか、パチンコもしやはるんですか」と言うたことがあるんです。「僕も人間ですよ」と言われるんですが、私は竹内先生というのはそんな先生というように思ってい

たのです。ほんとに単純というんですか、純朴というんですか、先生というのはあくまで「師」でまちがいが無いという感じに感じもし、みていましたから、今の時代の人からみたら笑われるかもしれませんが、先生にはスムーズについて行け、ほんとに良かったと思っています。もっと今の人にもそんな気持経験をさせてあげたいなあ、今の人は先生を「教師」というように呼びますね。でも私らはほんとに身内というか親しみをこめて「先生」という、いまだに先生からはなれない、乳離れしないというような、なんかそこにすごく魅力を感じます。今の人にはちょっと、かわいそうな気がします。

## ありがたい目標・体位向上

竹内　西塾さんどうですか。

西塾　ええ同じような意見なんですけれども、先生方に対して親しみがありましたの



で、今でもなんか担任の先生にお会いしたいと思います。もう20年もお会いして居ませんし、交流がないものでこれを機会に同窓会をしたいと思って居りますし、学生時代はとても苦しかったですけど、校長先生が生徒達の体力向上のためにいろいろ考えて下さったことがわかりました。金剛登山にしても、マラソンにしても大変苦しか

ったですけど、私達のことを考えて、いろいろやって下さったことに感謝して居ります。

## きつとくる健康教育時代

竹内 山上君はどうですか、ちょっと5期生になると世帯が大きくなるけれど。

保田 5期生は何人やったかな。6組だったかな。

山上 3年間大体諸先輩が言われたような感想なんです。その当時は思わなかったのですけれど、例えば企業とか社会全体が、健康管理によって金儲けするという時代です。そんなこと僕等想像できないのですが、健康管理センターなどがある時代です。それ以前に体をきたえるという方針の学校で、思い切って体をぶっつけて学べたというのは今割合役に立っていると思います。今、もう一度さかのぼるといって、オーバーかもしれないけれど、こういう体を鍛えるような教育というのに、またもどって来るのやないかと思えます。

## 校長と掃除

竹内 泉田さんどうですか。

泉田 在学中は能力別授業反対で授業放棄



したり、いろいろ先生方に御迷惑かけたりしたんですけど、あのころ先生方とほんとによく放課後でも授業放棄して呼び出されたときでも、何時間も何時間もよくお話しできました。

学校がやっぱり好きで夏休みでもほとんど毎日学校へ来ていました。なにに学校へ行っていたのか、お友達と話するのも楽しかったし、台風のあとなんか学校へ行ったら、堀江先生が居らしてて、瓦の落ちたのとか一緒にお掃除したのなんかも



覚えていてんです。とても先生方と交流があって、今でもほんとに東住吉高校の三年間は叱られたこともずいぶんありますけれど、今は楽しいことばかりが思い出されます。

## 最近の隆盛を喜ぶ

竹内 今はまあ夏休み登校禁止とか、日祝日登校禁止とかかわって来ましたね。それでは塚本先生いかがでしょうか。

塚本 私は教師生活30年になりますけれどその中20年東住吉に居りまして、本当に東住吉時代はいわゆる人間教育といいますが、きざな言葉でなく実のある人間教育をなさった時代ではないかと思えます。ああいった堀江先生の壮大な理念のもとで、我々一丸となってやりました。やはり私自身の長い人生、教師生活の中でもいちばん思い出深い学校生活の時代であったと思えます。それにつけましてもさらに最近ますます東住吉高校隆盛になってまいりまして、大学進学者なども国公立進学100人を越えますね。こういう面からみても結構だなあって嬉しく思っております。

## 緑化にふれて

竹内 本校は緑化推進校に選ばれたりしていますが、緑化についてはいかがですか。

矢野 現在でこそ緑化費は府の方でなにかを組まれているような時勢ですけど、その当時は全然そういうものがなくて、すべて御父兄のお世話になり、緑化しました。当時堀江先生のお考えで、やっぱり緑がなくては、ほんとの教育はできないということで、緑化ということには相当力をそいで、現在のようになった。だからして他校

と比べて、緑が多いというのは、創設の割には早く緑化がすすんだわけです。もっとも緑化のことについては、計画その他一切受けもってやられた、園芸高校に行かれた赤尾先生。あの人が非常に努力された。またその方面については、非常に恵まれた天分を持っておられた。あの人のおかげだと言っても過言ではないと思います。

## 教育の場は森林



堀江 緑化のことでね。明治維新の寺小屋とか、お寺とか、宮さんと人間を養成した場所は全部森林であった。そういうところでなければ人間の教育はできない。明治以来あまり必要ばかりで、能率主義本位の学校ばかりであったのは大失敗であった。教育長と交渉して、6年目に50万円もらった。これが府立高校でははじめてであった。その後の細かいことは赤尾君にまかせた。

## みどり会の楽しみ

浅井 いまのみどりがあつての教育ということで、名前も食堂を緑友会館と名づけておりますし、みどり会も、いまだに続いております。初代会長の樋口先生が創立以来35年から48年まで、13年連続でやっていたいて、そのあと樋口先生亡きあと、私が4期連続、順番だからやれということで、48年からやり、一昨年までお世話し、昨年その後、歴代会長に、譲ることに制度をかえましてけれども、そういう関係で、みどり会の会合あるたびに、ほとんど欠席なし



秋季レクリエーション におじゃまさせていだいて旧交をあたためており、ときに堀江先生もお顔をみせていただいで、非常になつかしい。もう死ぬまでお世話かけ、御厄介になろうと思います。みどり会はそんなわけで、一番印象の深いものです。また今日の会合に、私までお招きいただき、出席したことは、無上の光栄で、冥利に過ぎたことであります。それと同時に、初代会長ならびに樋口会長のお二人の先輩に対して、心から深甚の敬意を表したいと思っております。

## 最も燃えた時代

竹内 最後に堀江先生、東住吉一代記を。

堀江 先程からぼくはしゃべりすぎとる。

竹内 まあ一言で。

堀江 まあ、あと二年で、学校教育満五十年、その満五十年の教員生活の中で、ぼくとしてはもっとも情熱を燃やした時代であった。それだけに先生方、特にP T Aにはずいぶん無理を言いました。さいわい府下最高のP T A会長に恵まれ、片岡さんなればこそ、これだけの教育委員会からのいろんな圧力は受けたけれど、ほとんどそれは片岡さんがはねてくれた。それによっていろんなことをスムーズにやり得たのは非常に幸いであつたと思います。それだけにあの当時若い先生方にむちゃを言うて、申し訳なく思っています。ぼくとしては永遠に忘れられない時期であつたと思います。

竹内 いろいろ抜けたりしたこともありますけれど、その辺にはわか司会でありますので、ご容赦下さい。長時間どうもありがとうございました。

(昭和53年8月20日日曜午後、大阪府教育会館)



## 〈出席者〉

(敬称略)

高木 隆 (第四代校長)

菊池 通夫 (第五代校長)

中原 晃雄 (旧職員・社会)

岩崎 英一 (元PTA会長)

新田 基子 (10期生・旧姓青木)

柳 沢 美知夫 (13期生)

西川 加津枝 (13期生・旧姓西尾)

佐藤 佳世子 (17期生)

榎本 義幸 (18期生)

岡田 淑子 (体育科教諭)

大塚 隆 (社会科教諭・司会)

## 揺れる建学の精神

**司会** 昨日は前半の10年を中心とし、いろいろと話が飛びかいました。本日も気軽に話してください。青木さんらが入学のとき本校は10才ですが、その後いろいろと変化がでてきています。例えば、きのう話題に出ていました中学訪問の駅伝はすでなくなっていますし、当麻寺の合宿は18期生ぐらいまでです。そこでいろいろ変化の過程を語っていただき、後輩の参考にさせていただければと思います。

最初に岩崎さん、長期間PTA役員をつと

めていただき、外から学校をどのように御覧になっておられたか、お話しください。

**岩崎** そうですね。私の最初の子が12期で最後が20期です。その間に4人お預けし、学校に詳しいようですが、実はよくわかっていません。創立のころは東住吉区に高校がなく、誘致運動が盛んでした。そして幸い学校が誕生し、地区的には期待をかけました。どのような学校になるのか、地域の皆さんは注目されていました。そのような中で、東住吉高校は緑の多い閑静な一面にできあがり、期待に反することなく伸びてきたと思います。特に本校は本当に人間的



な育成をされる学校だと思えます。幸い4人とも入学させていただき、よかったと思っております。

**司会** 中原先生は他の高校から移ってこれ、初代の校長のもと、他校では経験できないこともあったと思えますが。

**中原** 私、33年に来まして、4期の入学のときです。前任校は広島の高徳高校という男子校でした。堀江校長が朝礼台で再三再四「東住吉区の一隅に日本一の特色のある学校をつくる。」と言っておられました。当時、勤評闘争で、教育論がカンカンガクガクと交わされていたときです。このころにいろいろの学校行事が定着しつつありました。私の印象にいちばん深いのは、ちょうど9期生の入学のとき、昭和38年ですね。37年に9クラスになって、40年に11クラスになりました。このころ、職員も生徒も増加して、今までのいろいろな行事が新しい行き方を開くということで再討議され、いいものは残し、改めるべきものは改めていくというところでした。最初は特色のある学校に来たと感じましたが、やはり並の学校に変化するのだなと思えましたね。

**司会** 高木先生も教頭先生で来られて。

**高木** 私39年にきました。前任校が北摂の住宅地域。線の細いおとなしい学校でした。しかし、こちらでは非常にたくましい感じがしました。東住吉高は大阪府立51番目、戦前には40校位ありました。戦後10校位でき、各校とも既設校に追いつくため、特色をつくりだしてきました。既設校より移ってきた私には、その追い抜こうというたくましさを感じられました。

大阪の商工業地帯の性格は二つあると思えます。39年に本校に来て、48年に去るまでの9ヶ年間を通じ印象に残っているのは、P T Aに大変熱心に後援いただいたことです。今日の本校の伸展は歴代の校長の御努力もさることながら、P T Aのなみ



なみならぬ力にあると思えます。例えば葭原校長時代には、食堂の2階3階に書道美術教室、斎藤校長時代には三角地の買収もでき、私の校長のときには、視聴覚室や図書館が建設されました。普通では創立10年、15年ではできるはずはありません。他の新設校ではできていないと思います。これはやはり東住吉高のP T Aの御尽力と思ひ感謝しております。

**司会** 特色ある行事の一つに中学訪問がありました。中原先生、どのようにお感じでしたか。

**中原** 岡田先生の方がお詳しいと思えますが、5期の担任のときに2、3人の先生と手分けして、中間考査の成績をもって中学校に行きました。旧3年担任全員での応対とか、2、3人の応対とかいろいろありました。中学と密接に連絡して、少しでもこの学校をよくしていこうという意欲のあらわれでした。そのうち、中学側に本校の意図に対して充分に対応していただけないところも出てきて、それでは問題のあるところだけ行こうということになりました。それまで教科で中学の先生と話し合いをするなど、中学との連携は強いものでした。

## 当麻寺合宿

**司会** 話は飛びますが、当麻寺の合宿に参加した印象などお話してください。佐藤さん何か。

**佐藤** あれば勉強に行っただけですね。(笑い) 詰め込みで、朝から夕方までの勉強の感じしか残っていません。それに先生の目を盗んで遊んだこと。

**司会** 「10時間の勉強」に参加するには非常

な決心がいったのでしょうか。

**西川** みんな、しゃべりたいのをじっとがまんし、誰かが話したすのを待っていました。一人が話したすと、わあーとなり、勉強が手につきませんでした。

**佐藤** 覚悟というより、修学旅行がないので、友達同志遊びにという感じがなきにしもあらずで……。

**岡田** 人数が増えたからですかね。初めのころは精選して、本気でやる者しか連れていけないという具合でした。あなた方のときは希望者全員参加できたのでは。新田さんのときは、どうでした。

**新田** 私は当麻寺に勉強しに行くといって、リュックにあれこれ詰めこみ、長崎の原水禁へ行きました。(笑い)家の方は当麻へ行っていると思ってました。

**岡田** 以前は、蚊がとまっても、血を吸って落ちるまで動いてはいけないなどと、きびしく指導されたと思いますが、中原先生、いかがでした。

**中原** 学年によってニュアンスに差がありました。やはり3時間連続して、座る経験を得させるものでしたね。



**岡田** そうでしたね。一日10時間のこともそうですね。

**中原** 寝そべての勉強もやめて欲しい。一日10時間の勉強を経験すれば、家庭に帰っても、2、3時間は勉強できるだろう。そういう意図でした。

**司会** ぼくは40年から当麻寺に行きました。そして14期に付き添ったときには、大分変化しています。そして、18期のときには、実施の話はありましたが、生徒がきびしさを求めていないということになり、中止。以後、復活していません。

自分で合宿に行かなくても、評判はいろいろとお聞きでしょう。

**柳沢** 今でも13期の者ときつき合いがあります。毎年、大学に入ってから6人ぐらいの仲間で話し合っているのですが、必ず合宿の話題がでます。誰と誰が好き同志だから、夜になれば墓場に連れて行き、話をさせてやろうとか。あまり一生懸命勉強したとは聞いていません。(笑い)

**司会** 高木先生も当麻寺には何回も行かれましたね。

**高木** 私がよく覚えているのは、卓球に熱中していたこと。でも、おとなしく勉強していましたよ。

**西川** 割合勉強したのじゃないかしら。自由時間が待ち遠しかったです。

**司会** あの辺は土葬ですので、自由時間に墓地にこわがらせに行きましたよ。岩崎さんは当麻寺は御存じでしょうか。

**岩崎** 私、学年代表の先生にお願いして、合宿を行なっていただきました。今では生徒も少し変わり、抵抗を持つようですね。あのころは進んで行った。初めのうちは希望者全部行けなかったでしょう。生徒もやる気を持って、行ってたように思います。

**司会** 費用面でも高くなってきまして、最初、何泊ぐらいでしたか。岡田先生。

**岡田** 長かったですよ。10日ぐらい。

**司会** だんだん期生が進むにしたがい、一週間ぐらいになっていきました。費用面で最高いくらと規定されたので、7日ぐらいとなりました。

## 当麻合宿の消滅

**中原** 私らのときが最後で、どのようにしようか迷いながらも、とにかく実施しました。48年が最後で、18年間続きました。

**岡田** 途中で参加が増え、叡福寺に分かれたときもありました。

**中原** 90人ぐらいがピークでしたね。

司会 私たちのときも相当多く2、3の寺に分かれました。

菊池 話を聞いていますと時代の流れを痛切に感じ、きのうの話でも、当麻の合宿をする段階で、堀江先生は数学と英語については、毎日5



時間ずつ、この10日間で50時間、あと補習か何かで、1年間分のことをやって、東住吉に3ヶ年いる間に、英語と数学は4ヶ年分という主旨で始まったらしいです。既設校に対して追いつけ追いこせの精神の具体的な現れと思います。しかし時代が移り変わって、13～17期になると余り勉強するという気がなくなっている。いずれなくなる運命にあったのでしょうか。これから復活することはまずないと思います。新設校でも行なっている学校はあります。しかし、いつまでも続くものでもなさそうです。

岩崎 時代の流れもありますね。中学でも高校入学の補習を、ある時期されたのと違いますか。13期ぐらいまで補習はあり、その後なくなっています。あの当時、中学の先生も夏休み前後に時間をさいて、補習したものです。そうしないと高校へ入れないということで、各学校とも競ってしていました。高校へ入ったら、いい大学へ入るた



めしっかりやらなければいけないということで、勉強をする態度を相当厳しく指導された。

ところが、今はそのようなことは自分自身ですればよいということになっていきます。中学校におい

ても変わりつつあると思います。それに生活環境の違いもありましょう。10期以前なら、各家庭にテレビはなかったでしょう。それが現在のようになり、それに比例して塾が増えて来ました。昔の方は塾へはいかなかったでしょう。今は塾へ行かなければいけないような風潮です。

西川 学校より塾の授業に遅れないように言われますね。

岩崎 そうですね。学校で寝て、塾で勉強してという風な時代になってきました。しかし、当麻寺の補習はよくやっていただきました。親は続けて欲しい気持はありますが、子供がついていかないでしょう。高度成長でレジャー時代に入り、海へ山へと行きたい所へ行き、3年生は別だけれども、1、2年は遊ぶという格好になってきたようです。そして、3年生になってからは追いつかなかつたとなりがちですね。

## 体育祭を生徒主催で

司会 話題がかわりますが、暖房が長い間ありませんでしたが、生徒会長をされていた新田さんたちは暖房や防寒具などへの関心はいかがでした。

新田 そんなに感じていませんでしたし、余り問題にしてもありませんでした。話はそれますが私たちが問題にしましたのは、食堂の値上げと天野先生の強制転勤。それにちょうど、ベトナム戦争のころで、ベトナムの映画のポスターをはりだしたりしました。そのポスターを高木先生にあとからあとから、はがされていきました。(笑い)その後、掲示板ができ、はがされることはなくなりました。



それから、体育祭についてですが、私たちのときから生徒会主催になりました。もめたことが棒倒しと騎馬戦で、以前は危いのでやっていませんでしたが、復活させようと思いました。それで、武田先生とものすごく言い合いましたのを覚えています。

岡田 武田先生は体育部の顧問でしたからね。

## 騎馬戦・棒倒しの復活

新田 生徒の方は是非やろうということでしたが、以前に骨折などがあって中止になっていたので「きみたちが主催し責任はとれるのか。ぼくらはやめることで責任をとれるがきみたちはどのように責任をとるのか。」といわれました。しかし結局審判員をふやしてやりました。そして両方とも無事にすみました。その後どのようにになりましたか。

司会 ずっと続いています。では、体育祭実行委員の経験ある榎本君、どうですか。

榎本 ぼくたちのときは騎馬戦と棒倒し、それと女子の棒引きは中止しようと考えていました。と言いますのは、前年に棒倒しで男子が怪我をし、実行委員としては危険は避けようということになりました。ぼくらのころはある程度セーブして、丸く治めていこうという雰囲気が学内全体にありましたね。(笑い) しかし、体育祭で活躍する生徒とかOBに、それだけは中止しないでほしいと言われ、さらに、16期のOBにそう言われ、2学年も違いますので中止できず、結局実施しました。現在も存続していると思います。



新田 現在もヤグラを建ててのかなり大が

かりな体育祭が存続しているのですか。

高木 今はスタンドの資材もすべて購入してあります。

新田 体育祭が終わればマスコットを降ろして、ファイアーとフォークダンスをして、楽しかったです。

榎本 スタンド材料は現在買ってあり、腐らないよう昇降口に置いてあります。

新田 準備のしんどいのが楽しくて、いまでもすごくいい思い出に残っています。

岡田 今では少し衣装がはでになってきて水着に網タイツみたいなものができましたよ。

## もぐり宿泊

榎本 遅くまで、夜の7時半、時には8時ごろまで準備をします。しかし、近隣に住宅も増えて「やかましい」と不満の声がよく出ますので、生徒会が近所の住宅に羊かん、予算のないときにはタオルを持って挨拶に回りました。

新田 柔道部の部室へ泊ることがありましたね。

榎本 ぼくらは泊まらせないために、監視していました。

新田 あの当時、北守先生に早く帰れとよく叱られました。

中原 あのころはよく泊まりこんでいたらしいね。

西川 私たちもあまり大がかりになり過ぎて、2、3日前ぐらいになると、準備のため一番電車で登校しました。

榎本 大体16期までよく泊ったそうですが、ぼくたちのころ、実行委員長に伊原先輩がいて、手きびしく摘発行為をされました。ありとあらゆる所、校外の喫茶店まで回りました。それを契機にきびしくやってきました。だから、10期生の新田さんらとは逆の立場でした。

新田 そうですね。

**榎本** 生徒が大変燃えて、ファイヤーストームで興奮するので、おさえるのに困りました。夜遅くなり、女子もいて事故がおきると困ります。実行委員はファイヤーに水をかけて、おさえ役に回っていました。だいぶ昔と違いますね。

**司会** 今聞きますと、10期生のころから、生徒会の活動が活発で、13期生ぐらいが頂点でしょうね。それから、17期生ぐらいから、この一、二年見ていると、実行委員がものすごく早く帰らすとか、ぼくたち生活指導の方は少し楽なのです。

**西川** 私らは言われることにすべて反抗していた。

**榎本** 自分らは、言われる前に規制してこうしていました。

**司会** やはり自主独立ですね。

**佐藤** 17期ぐらいから、生徒が生徒を制すというのができましたね。体育祭の前日まで互いに目の敵ですが、始まると肩たたき合って、最後一緒に泣きました。準備のため目をぬすんで柔道室に蚊取り線香をたいて泊まったことも聞いています。



**榎本** あれはぼくらも知っていましたが、あまり生徒が生徒を制すというのは、感心できませんので、ある程度、黙認してきました。

**高木** 44年から46年は全般的に紛争期で東住吉にも少しそれが現れています。文化祭も同じですね。

**司会** 文化祭には、思い出は何かありませんか。

**新田** 私は美術部でしたが、日がせまってきたら部室に泊まり込み、家が近くだから

おなか減れば家でお握りをつくり、へいを乗り越えて入りこみました。とにかく、したいことをしましたね。そのかわり大学をすべって、浪人をしゴタゴタしましたが悔いありませんでした。体育祭が始まって終るまでいろいろありましたね。日の丸にしても何回も集まり、話し合いをして、校長室にも沢山おしかけ、校長室のガラスも故意ではないけれど、おされて割れましたね。

**高木** これはうちだけではなしに、全般的な流れですね。

## 日の丸を焼く

**西川** 紙の日の丸を焼いたことが新聞にのりましたね。

**司会** あのことを柳沢君たちは、どのように感じていました。

**柳沢** 仮装行列の人が一つの意志表示として日の丸を焼いた。ぼくらは当日そのときになるまで知らなかった。後で問題になり、生徒集会を開きました。あのころは、大学でも紛争の最中でしたね。東大でもありましたね。回りの雰囲気にも影響されたでしょうね。ぼくは傍観者でしたが。

**司会** 体育館で何回も全校集会がありましたね。西川さんはどうでしたか。

**西川** そのときは気がつきませんでした。何か人がワイワイ言っているなあという感じで。私たちの中には「どうしてあのようなことをするのかなあ。何にもならないのに」という人と、一生懸命になる人とがありました。一生懸命になる人は、何回も生徒集会を開いていました。「何のためになるのだろう」と思いつつ参加していた人もいたと思います。先生は中止するよう指導されていました。私らの中では、関心のあつた人とない人とばらばらみたいな感じでした。私は社会人になってからすればよいと思っていました、あの人たちは「学校に

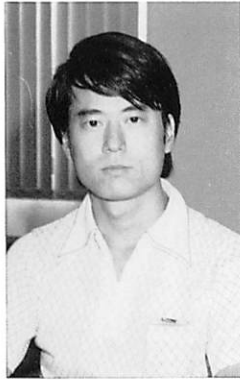
いる間は自由だから、何でもしなくては』  
とっていたようです。私も柳沢さんと同  
じようにみているだけで、中には入ってい  
きませんでした。

## 学園紛争は小揺れ

司会 割合あのころ、学園封鎖や紛争があ  
りましたが、その危機感がありましたか。

西川 うちは大丈夫とっていました。

柳沢 東淀川高はそ  
のようになりました  
ね。最初のころはう  
ちも紛争するのかな  
あとも思っていまし  
たが、だんだん長び  
くにつれ、全体にし  
りすほみになってい  
った感じがします。



司会 あのときは大  
変でしたね。中原先生。

中原 ぼくは渦中にまきこまれましたね。  
体育祭で日の丸を上げるとか、卒業式に正  
門に日の丸をかかげるとかということが今で  
てきたら、率直にやめときなさいといいま  
すね。あのとき東住吉で経験したから、そ  
のような気がするのかもしれませんが。今、  
思ってみたら、40年代の日本は大きな変り  
目ですね。その中に東住吉高が存在してい  
たわけです。古い観念と新しい観念が激突  
し合い、改めるべきものは改め、改めては  
いけないものは改めないという形で皆が各  
自の考えを追求致しましたね。それと日の  
丸については、39年、東京オリンピックの  
ときに官公庁とか学校では日の丸をかかげ  
て、国旗を大切にするように指導がなされ  
ていたもので、それに対する反発とも思われ  
ます。結論的にことさらがんばって掲げね  
ばいけないということはさらさらないので  
す。しかし、日の丸とか国旗についてこと  
改めて論議すれば、国旗は国旗、日の丸は

日の丸という気持が私自身にあるので、そ  
のような観念の錯綜（さくそう）でまき起  
こったことと思います。よくまとまりませ  
んが……………。

司会 あの前後、授業はやりにくかったで  
すね。日の丸を焼くなど出ていった一人で  
したからね。あれから授業に行くと、 $\frac{3}{4}$ ぐ  
らいは変な目つきで、 $\frac{1}{4}$ ぐらいは逆に支持  
してくれていて、最初の数週間は授業もや  
りにくかったですよ。

## 受けて立つ生徒会

榎本 13期の事件とは質的には違いますが、  
私たちのころ制服自由化で生徒集会を開き  
ました。ぼくは先頭には立ちませんでした  
が、やらざるを得ないような立場にいまし  
た。このころは、先輩とは少し違いまして、  
生徒の中に政治的な意識や思想的背景は全  
くありません。ただ私服になればいいとい  
う目的があっただけです。ぼくが生徒会の  
副議長になった直後に起きた問題です。生  
徒会が13期のころとぼくたちのころではこ  
の点で異っていると思うのです。それは生  
徒会の者は、制服になろうが私服になろう  
がどちらでもよかった。昔は目的意識を持  
ち皆をリードされたと思います。私らのと  
きには、生徒から起こってくる問題をでき  
るだけ吸収し、そして、先生方の御意見と  
過激な生徒の意見の妥協点を見付けて行こ  
うとしておりました。

しかし、自由化は大問題になりました。  
ぼく自身は、当時制服自由化には反対でし  
た。学生時代制服は当然だし、女子の場合、  
うちはセーラー服ではないけれども、制服  
の方がかわいらしい。しかし、立場上妥協  
点を見いだして行きました。菊池先生も大  
変だったと思います。はね上がりがいまし  
て生徒会の意向を無視して、かってに活動  
する者がいました。しかし、あくまでも生  
徒会を本流として議決し、職員会議の承認

を求めるといふ形でとりくみました。このように、以前とは少し変化していると思います。

**西川** そのように聞くと淋しい感じで、若さが全然ないですね。一般社会の会社組織のようなもので、何のために学校へ来ているのか分かりませんね。身につけるものが問題ではなく中身の問題で、男は男らしくない、女は女らしくないみたいで今聞くと淋しく感じます。



**榎本** なぜ私服になったのか。事情はよく自身よく分かりません。ただ生徒会が変わったというのは、この点で何かの目標があったのではなくて、学生の要求がでてきたからそれにとり組むという官僚的な面が非常に強くなりました。

**西川** 聞いていておとなしい感じがします。

**高木** それは時代の流れで、どの高等学校もそのようになってきました。

**西川** 世間は何か騒がしいのに学校の中ではよくできる良い子ちゃんばかりの感じ。

**高木** ぼくはここから豊中へ行きましたね。するとほとんど事件がなかった。そのような時代ですね。進学に気をとられてしまったということですね。

## 防寒具着用許可

**司会** 10期生ぐらいでは、服装の問題などなかったですか。

**新田** でませんでした。

**司会** そうですね。もっと違う関心があったのですね。

**中原** しかし、新田さんが3年生のとき、防寒具の着用が許可になったのですよ。

**新田** そんなに寒いとは感じていませんでしたが。

**中原** それは情熱的でいられたからでしょう。(笑い) これはむしろ発言を聞いていると、先生の方から「着せちゃえ。」となっていたみたいですね。

**新田** 結構中にセーターなど着ていましてそれを先生方はとやかくは言われなかった。

**高木** 防寒具は種類を決めましたね。

**中原** そうですね。これくらいの範囲という線を決めました。それまで一切だめでした。これは丸刈り、防寒具禁止などの厳格な指導がいちばん先に丸刈り解除になり、そして防寒具解除になったときには、東住吉も少し違って来たなあと感じました。少し思いだしましたが、そのとき東住吉の前期の生活指導の象徴といったら、先日お亡くなりになった肥田先生です。その先生が毎日オーバー着ずに来られていて、先生は学校のお近くだったので、冗談に「先生近いからな」と話していました。あのころ生徒にこうせよといってもですね、先生はカラッ風の中オーバーを着ずでは身が持ちませんね。そこで、先生もできないことを生徒に強制するのは少ししんどいという声も上がってきました。ところが先生は先生で生徒は生徒。ぼくらは生徒のときには随分厳格な訓練を受けてきたという声を耳にするころ、一期生以来胸張ってがんばっていた肥田さんをひよっと見たらオーバー着ておられた。立派なズッシリしたのをね。「あれ、先生お年ですか。」と言ったのですね。「まあ、そんなこっちゃ。」と笑っていらっしやったが、後で考えますと教師は着る。しかし、君達はがんばれということで、先生と生徒の別を示されたのでしょうか。ところが40年に肥田先生が転勤され、保田先生が全府立高校を対象にアンケートをとられた結果、着用を許可している学校が多かった。そこで、着てもよい。しかし、がんば

れるのだったらがんばれ。その方が若者らしいぞという指導をすることになった。これが新田さんの3年生のときです。

新田 あまり覚えていませんね。

中原 やはり先生の中からでてきたのかな。

新田 服装のことチラッと話題にはなっていたのですかね。私達のころは、まだ真面目な内容で、学校側とはいろいろな対立もありましたが、割とまともな筋も通るような、自分達をほめてばかりでいけないですが、何か一生懸命まじめにとりこんでいた感じでしたよ。

中原 君達のときは、個人生活はきびしくして、だんだんと社会的な関心を持ってきた世代やな。

## 制服論争はじまる

司会 よその学校では、学園紛争期に自由化しているところが多いです。うちでは、学園紛争終って静かになってからという感じですね。榎本君の言われた発想がかなりあるのでしょうか。

岡田 本当の裏話しですけど、きっかけは全く個人的な事情から制服を着るのがいやだということみたいですね。

榎本 一部の生徒から始まり、俺も俺もと後に続いていくようになると、いつの間にか制服は無意味ということになりました。ぼくらのときは高度成長期ですから家でははでなものを着られた。だから制服を廃止するのではなくて制服着たいものは制服、私服着たいものは私服を着ればよい、制服よりも標準服にしたらよいという意見が出てくるのです。このことは私も関係しており、意見を求められ、ぼくは公約に反対しないが、公約すると、絶対自由化しなければならない。そこで生徒会のフリーハンドとしておいたのです。11月になり、あれよあれよと言っている間に、後には11月革命とも言われたクーデター騒ぎがおこり、授

業ができませんでしたね。

## マイクを持てば勝ち

佐藤 そうですね。昼からでしたか、そのようになりました。あれは討論とは言えなかった。集会が開かれ朝礼台の前でマイクを持ったら勝ち。言ってしまったら終りというふうで。体育祭の余韻の熱気の感がありました。革命とまではいかなかったのじゃないですか。

榎本 それは冗談ですが。

中原 あの日、ぼくは出張していた。あれは防火訓練のあとでは…………。

榎本 立会演説会が途中でたち消えになってしまいました。

中原 そうでしたか。帰ってみると、学校が変わっているわけですよ。佐藤君たちもコロッと変わってしまっていて、意外でしたね。

佐藤 あの前から新聞部あたりでは、他校の自由化のアンケートを記事にしましたので、もりあがる下地はあったと思います。体育祭があったから、あそこまでいったと思います。だから、発言者も体育祭の団長が多いようでした。

## 火付けは弁論部 火消しは生徒会

榎本 火をつけたのは弁論部でしたね。そして、生徒会が火を消したという感じでした。

佐藤 生徒会が公約したから、生徒会をもりたてようという雰囲気もあったのじゃないですか。

榎本 公約すると自由化しなければならない。制限されるので、公約はしていません。しかし、いずれ自由化は予想していましたので、すんなりと自由化に持っていきたいという意見が多かった。集会のさい、10人ぐらいの生徒が演壇で騒いでいましたが、



後ろではバレーボールをしている者もあり、大半はどうでもよいと無視していたようです。

**司会** 大多数の生徒も、自由にしておいたら私は学生服を着てくるのだから。というようでしたね。



教職員の方は、塚本先生が生活指導部長でしたが、よその学校が自由化するものから、自由化の場合どのように自由化させていくかというようなことを、私も生活指導であったので、あちらこちらの先進校へ調査に回りました。

**西川** 先生方やさしくなられましたね。私たちのころは、何もするな。勉強している、の感じでしたでしょう。

**司会** 生徒会と対立していたときと、榎本君がいわれた大人の感覚の違いではないですか。

P T Aの岩崎さん、いかがですか。

## 自由化反対！ P T A

**岩崎** 私も日の丸と服装の問題は、父兄が最も関心を持たれたと思います。日の丸事件のとき、私の子供は一人も在学していなくて、聞いたのはあとでしたが、大変なことがおこったのだなあと感じていました。このあとの服装については、時代の流れもあったでしょうが、親の願いはできるなら制服を着て欲しいということであったでしょうし、その間、中学時代には頭髪の問題があり、学生運動が盛んになっていった全国的な流れの中で、変るべきものは変ったと思うのです。しかし、親には郷愁的な気持で制服は残るのじゃないですか。親としたらいまだに制服を着させて欲しいと思っている人もおられるでしょう。

ぼくらは年いった方になりますが、高校のお父さん、お母さんの年代は大体きまっていますからね。だから徹底反対をP T Aでやったらという気持の父兄もおられると思います。しかし、これは生徒会なり、職員会議なりで決めていかれることで、P T Aの決定することではないです。しかし、お金の方は大いにP T Aであずかっています。P T Aでもこのことについて、話し合ったことがあります。そのころ自由化になっている高校もあり、自由賛成のP T A会長もいて、いろいろありました。この辺がこの10年の中でとりあげられることと思います。

気のついたことですが、新田さんたちと18、20期では、とらえ方が大分違いますね。ものにとらえ方、考え方ですが、十年一昔でやはり大きいですね。学校の中もずいぶん変わっていますね。さきほどの暖房の話でも、昔は当然学校に行けば火の気がなく、寒いのは当たり前で、新田さんのときはなかったでしょう。

**新田** あまり寒かったことは記憶にありませんが。

**岩崎** 中学校は教室に暖房はありましたが、講堂にはなく、講堂にも暖房をという声はその2、3年前に出ました。親の方でも子供がかわいそうだ、暖房してやろうということでP T Aが動いて暖房にしたところもありました。といいますのは、家庭に暖房が浸透しています。石油ストーブですね。そこで学校にはなく、家に帰ったらある。それではかわいそうだととなり、それが高校へ波及していき、耐乏生活、それが初代堀江校長以来の指導方針であったのが、10期生ぐらいになる間に移り変わった。

それから高度成長、使い捨ての時代へと入り消費が美德となり、オリンピック、万博の前後ですね。それからパニック状態でオイルショックになり景気が悪くなり、これで変わっていくでしょう。このようなわけ

で、10周年、25周年の差があり、またこれから20年、30年で変わっていくものと思います。補習も暖房もそうだし、これから冷房だって家庭ではありますので、学校の職員室ぐらいあってもという気がおこってくるでしょう。官公庁では、今冷房がありますね。そのうち学校にもとなってくるでしょう。そういう時代がおそらくくるでしょう。それと同時に勉強のしかたも、テレビなどが普及して学生運動が変わりますね。そこで、時代に乗り遅れないために、当校も制服を廃止したと思いますね。本当はうちぐらい一校は残しておいて欲しかったですが、実際は現在残っている学校もあります、何か時代に出遅れたという感覚で生徒もとらえて、あのようになったと思います。

## 制服時代はくる

しかし、これからまた制服時代がくると思います。というのは会社に入ると、ほとんど制服ですね。もし会社が自由化になれば会社がこまります。事務の人には事務の服を着せる。作業の人には作業に安全な服を着せる。反対ないです。みんなすんわりしています。学校だけが自由化、おかしいのじゃないか。とぼくらは当初そのように思っていた。やはり時代の流れだと思います。生活の向上ということと教育そのものじゃなしに、環境が動いてきたのではないのでしょうか。それから、日の丸の問題も政治の流れを抑えていますね。当時学園紛争はどこでもあり、ない方がめずらしいくらいでした。

司会 菊池先生、あのあとこられて、いかがでしょうか。

## 困る、自主性のない自由

菊池 暖房の話ですが、生徒の方から暖房にしてくれというようなことではないと思う。小学校、中学校を通じ、設備の整った

所で過ごし、そこを卒業し、暖房のない所にくると、寒いと感じるでしょうし、ずっと暖房のなかった者はそうは感じないでしょう。しかし、暖房は府が定時制の方からつけていったわけで、生徒の動きとは無関係だと思います。

服装の自由化は世間的な流れの一つで、現在大阪で十何校。それ以上に広がらないというのは高校生は制服の方がいいのだという世間一般の評価だと思います。

けども、生徒の声が高まり、その上で自由では困るとあの声を抑えきるためには、教職員が一致してだめなんだと説得に向かわないと抑えきれないと思います。しかし、現実はずしも意見は一致していません。むしろ自由化がよいのだという教職員もかなりいた中で抑えにかかると、私は東淀川で学園紛争を体験しましたが、事件になると思っていました。始めの段階は抑えねばという声もありましたが、最終の段階では、職員会議で自由化がいけないという意見は少なかったです。だから割合すんなりと決まりました。生徒の側からは、それを勝ちとったというかもわかりませんが。

ただ残念なのは、自由化したときの榎本君たちの言い分はこれこれと、かなり自主規制を示し、その上で許可して欲しいという話であったのが、あの当時の生徒が出てしまうと、自主規制がなくなり野放しの自由化となり、野放しになると抑えねばならぬ面がでてくる。そのしりぬぐいをだれがやると当時の生徒は思っているのか。みな卒業したあと、3年、4年たち、困ったような状態ができて、だれが規制するのか。これが今の生活指導の問題で、自由化の遺産が残されている。その辺がこれからどうするかという大きな一つの課題ですが、幸いなことに、非常に困ったことにはならない。これが東住吉のある意味でいったら良

心でしょう。極めて困った状態にならない。だから一方まもなく制服が復活するという見通しはたたないのではないかという気がします。

御父兄の意見を聞くと、自由化をやめ、制服にという声が、1年生からはときどき上がるが、2、3年になると、私は自由化賛成という人もでてきます。御父兄の全部が自由化がだめなんだということになれば、元に戻し易いですが、ぼくは必ずしもそうでないと思います。

## 標準服は逃げ道

司会 確かに自由化しまして、一、二年服装が乱れましたね。しかし、ここ二、三年は少し落着いている感じで。卒業式の前の日に、明日卒業式だから制服着てきなさいといいますが、ほとんど着てきますね。

西川 制服持っているのですか。

司会 一年のときに、標準服を紹介しますのでみんな持っていますよ。いずれ使いますよとこの二、三年言っています。

西川 もったいないですね。

司会 4月、5月のあるシーズンは着ますよ。

岡田 女子生徒は夏でも冬でも着るものがなくなったときの逃げ道に今までの制服があるわけでしょう。簡単で良いということもあるみたいで、200人入学したら180人



くらいは買うみたいですよ。他はもらうということもあるでしょう。明日卒業式だから服装をきっちりしてきなさいね、と言ったら制服のことだなあと思って着てきます。明日写真写すからね。と言っても元の制服を着てきます。でも今は学校からは制服あるいは標

準服ということは言っていないですよ。

西川 もし卒業式にスーツ着るものがあったら。

司会 別にいいのですよ。何人かあります。普段は自由だから、朝、男にしても女にしても大変なのです。今日は何にするかということ。

西川 何か髪の色も。

司会 先ほどの長髪は丸坊主でない長髪ですね。十二、三期生のころはいわゆる長髪がでてきているいろいろいいましたが最近は一マとか毛を染めるというのがあります。

## 温室から外をみる

西川 私、自由化されている他校の生徒でお化粧して学校へ行っている人を見てこの人何しに学校へ行っているのかなと思いました。学校の中は一つの温室だから温室から見える外の世界をまねしている。それは何かわびしく思う。制服がなくなったことは卒業生の立場からすごく淋しく思います。時代の流れとおっしゃいますがずっと引継いでいって欲しかった。

中原 佐藤君ら卒業式のときほとんど制服着てましたね、数名を除いて。

佐藤 ええそうです。

中原 佐藤君たちは自由化をなしとげた学年だが今はどのように思いますか。

佐藤 遺産を残したわけですが2学期から3学期にかけて11、12、1月だけの自由化であった。無責任のようだが後のことは18、19期にまかせるという形でとにかく3年生はここで自由化しようという気運で持っていた。私たちのとき自由化になってもスカート丈の長いもの、赤いものはやめるなど言っていましたが、規約をもっと煮つめ、パンフなどを配布し細かいことを決めていけば、今お困りのことはでてこなかったでしょう。

## 空文？服装内規

榎本 いや8項目の内規はあるのです。

佐藤 しかし知らないでしょう。

榎本 8項目の中の4項目は私が草案したのです。この内規を職員会議に提出して、その条件で認めてもらい19期、20期まで徹底的に教育しました。しかしぼくらが卒業した後にそのいきさつを知らず、すでに自由化された東住吉に入学してくる。だからそのような内規が徹底せずいつの間にか忘れられてしまう。ぼくら自由化運動しているときにも、いつか内規は忘れられてしまうという危惧は持っていました。だから内規は守ってほしいということで、新聞部と放送部に、後輩に伝達してもらうように頼みました。しかし徹底しませんで、先日教育実習で東住吉高校へ行ったとき、生徒に内規知っているかと聞いたけれど、だれも知らなかった。情けなく思いました。それが生活指導に迷惑をかける原因だと思います。内規はあったのです。

佐藤 私も大体知っている程度ではっきりとは内規の内容を知りませんでした。1ヵ月ほど経過していく間に制服が増え、最初試験期間でしたので立ち消えになってしまうのではと思っていました。

司会 少し話題を変えまして、本校特色の霧ヶ峰キャンプで現役またはカウンセラーとして参加した感想などからお話し下さい。新田さん。

## キャンプで、親友が

新田 私のとき最初から帰るまで雨で。あの雨がなかったら、きっと素晴らしい教育キャンプになったと思い残念で。

高木 新田さんらのときは旅館へ泊まらずに最初の「霧ヶ峰に帰れ」ということで、鉄鉱泉で風呂だけ入った記憶があります。一年だけこのようなことがありました。

新田 一年生で行くのは早いですね。修学旅行の代りで、充実したものにすれば一年では友達も固まっていないでしょう。

岡田 今は二年生になりました。

司会 柳沢君どうですか。

柳沢 ぼくらのときは一年生で、そのとき一緒になったもの同志の付き合いが続き、もう10年になります。中学のときはこのようなことはありませんでした。それでほとんどみな初めての経験でしたのでキャンプ生活を通してお互いがわかるようになり、たくさんの友が一度にできた感じです。

新田 力を合わせて自炊などするのは楽しみでした。

司会 西川さんどうですか。

## 山の生活に感激

西川 時期的に早いかもしれませんが私もその時の友人がいます。あのように一つのこととみんなで一生懸命とりくむのは良いことだと思います。修学旅行のようにずっと見るだけではなしに、初めての山の生活で米を洗っての自炊に感激しました。行ったときの年令に戻って話してできるのはいいと思います。生徒のときにはハイキングにしてもしんどかったのです。それが年いってからカウンセラーとして参加させてもらったときには楽になっているのですね。こんなに楽だったのかしらと思いました。

新田 カウンセラーをつくろうというのはいつからですか。

司会 6期生からです。

西川 私達のときも山の上で女子がまっ背になり先生が抱いて下山されました。うまくいっているときはいいですが。そのように一つ間違うとこわいです。カウンセラーで参加したときも下から雨が降る感じで、口の中にも雨が入って来ました。現役のときはひざを痛めて車山へ登れませんでした。けれど年をとってからカウンセラーとして

参加したときは楽に登れました。生徒より5、6才上でみんながオバチャンのように言いましたが写真では生徒と間違われて喜んでいいのか悲しむべきなのか……。しかしいくつになって行っても楽しいことなのできっと良いことでしょうね。

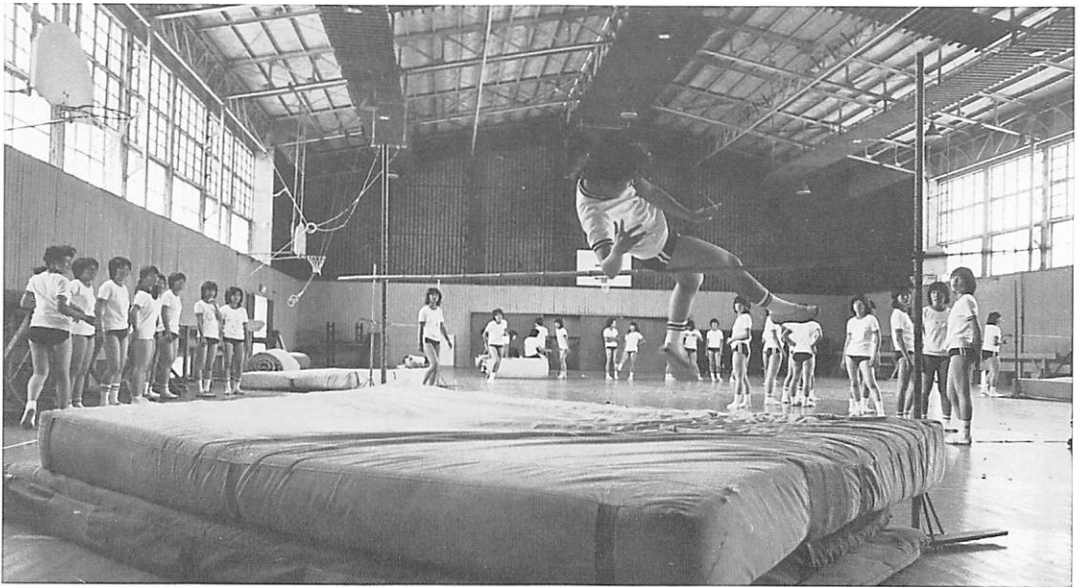
**高木** そうですね。私三、四校経験しましたが本校は体育が充実しています。私39年に本校に来て予算を組んでみると体育科の予算は前任校の3倍くらいです。サッカー

が多く、卒業生たちもいろいろな種目をしたというのは喜んでますね。

**高木** あれだけ徹底してもらおうと体が違うと思います。

**司会** そうですね。佐藤さんどうですか。

**佐藤** 私たちの時も雨で私たちは山小屋でしたがテントに泊っているものが毛布を借りて来ていました。山肌がズルズルでハイキングどころではなかった。体が臭く温泉に入ったときはすごく気持ちよかったのを



にしても「ボール一つで授業できますがな。」という「25個いる。」といわれた。なるほど2人で蹴れば25個いりますね。認識不足だったのです。高校の前半は体を鍛えねばいけません。他の高等学校は非常に不十分です。その点卒業生は特に体育の先生に感謝しないとイケないです。円盤でも槍でも全部やったでしょう。よその学校は先生がし、それを生徒がみているだけのところが多いです。どこの学校でも円盤が25個もないのです。亡くなられた養護教諭の稲葉先生がうちの学校は怪我が多くて困りますとよく言っておられた。それだけ熱心にやっていたのだということですね。

**岡田** 卒業して体育の専門の大学に行く人

覚えています。

**西川** 私のときは一週間天気が続いて体がさらっとして山での生活はこんなに素晴らしいのかなあと思った。

**佐藤** 雨は大変ですね。

**司会** キャンプは天気の保証がないと。

**佐藤** スケートハウスの畳が湿っていたのできつと雨続きだったのですね。

## キャンプ地

### 蓼の海・沢渡りを離れる

**司会** 蓼の海のスケートハウスが18期生で最後になっており、沢渡りでテントを張る最後も18期です。というのは国立公園で荒

らしてくれるなということです。その後少し放浪します。

**岡田** 実施時期も18期が1年でする最後で、19期から2年に戻った。

**司会** そうです、今も霧ヶ峰ですが。

**西川** のちにスキーに行きましたが、舗装道路ができていましたね。

**榎本** ぼくが行ったときには体重が三、四キロ減りました。ぼくの班は料理がうまくいきませんでした。カレーライスが水をいれすぎてチャポチャポしたり。ほとんど一週間ごはんらしいごはんを食べていなかったです。ごはんもカチカチのしんがあるのを食べていて帰ると体重が減っていました。二、三日で戻りましたが。それからものすごい雨で組の女子の一人が倒れて下までかつき下ろしました。

**西川** ハイキングでお弁当を広げると急に降ってきてあわてて下りました。

**榎本** それと最後の日ほとんど寝ていなくて枕なげをしていますがね。帰りは眠いのお腹が減っているのので疲れたなという経験があります。

**西川** 私のときは白糸の滝を回りました。

**岡田** 13期が最後とちがいますか。河口湖などを回りましたね。



**司会** 今ごろは朝でています。西川さんらのときはコンテナを組んで、向こうで解体したでしょう。今はそのようなことをしないで、現地で、ある程度借ります。私も今

年行ってきたのですが、「何でこんな所へ来なあかんのか」という印象を持つ子が増えているのは事実ですね。そういうことはありましたか。

**新田** そのようなことはなく、雨が降っても楽しかったです。また、あのような場で活躍する子もいます。キャンプファイヤーとか、ご飯たきでも、教室でさえない子でも活躍して、女の子の間でもあの子いいね。と見直したり。

**榎本** ぼくらのときぐらいまでと違いますか。それから人間さめてくるような。

## おとなしく行儀わるい

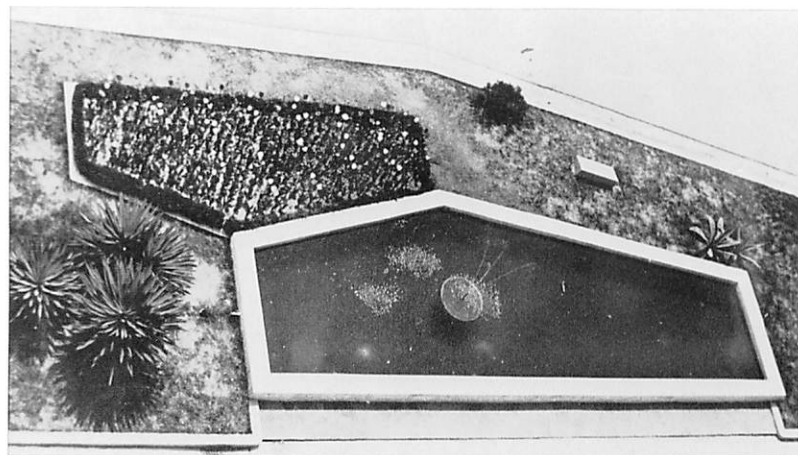
**西川** 今の子はおとなしいけれど、行儀が悪いです。こうしなさい、と言っても、「何で、せないかんねん」とか言って。そのような場でもけじめがついていない。その反面、対人関係でぶつかるといやだから、うまくやっていこう。だからある面ではおとなしいがある面では自分勝手に、今の社会そのままで淋しい。「こんなんやったら、気の合った者とよそへ行くわ」それも当然でしょうが、それを時代の流れと言ってしまうのは淋しい。私らのときは、しろ、と言われたことは、しなくてはとと思ってしました。そしてしてもらいたいことは、とことんまでしてもらった。バイタリティーにあふれていたと思うのです。今の子は、内輪には何をしてもいい、外はいいようにしておこう、という気があり、十七、八でかたまってしまうのは、淋しいです。

**司会** 菊池先生、いかがですか。

**菊池** ぼくの最初に来た年はなくて、それから5年間に3回行っていきますが、今年は少し異なり、この6ヵ年ほどの間に、女の子に指導しにくいのが増えている。上からカチッとと言うと静かによく聞かすが、少しも分かっていないのがいる。

**西川** 会社がそうです。採用されて来るで

しょう。お茶をいれなさい。何で私がいれるのですか。向こうの人が近いでしょう。というのです。私たちからいえばそのこと自体がおかしい。とにかく最初からという気持ちが全然ない。ただ顔がきれいで、スタイルがよく、いい服を着る。私がもらった給料だから、何につかってもいいという感覚ですね。だから、制服の自由化じゃないですが、みんなは暗黙の了解で、地味なものを着ていますね。ところが一人はでな者がいる。そこで、年いった人が「止めた方がいいですよ」というと、「なんでですか。私のかってじゃないですか」という。社会というのは、そのようなものじゃないと思うのです。その人は対人関係において問題もおこさない、おとなしい人です。けれども、「回りの人に迷惑をかけていることもあるだろうし、何も言わなくても気分を悪くしている人もいるのですよ」といっても、聞きいれませんか。自分も女だから淋しくなるのです。そういう人たちも母親になり、子供もできるでしょう。自分のことばかり考えずにもう少しレンズの焦点をかえてみるとよい。



司会 今、高木先生に東京オリンピック記念の校舎の俯瞰写真を持ってきてもらいましたが、10期生が1年生あたりのときの校地および周辺というのは、今とずいぶん変

っていると思いますが、そのような思い出は何かありませんか。

## よかった、漆の堤

新田 芝生もあり、緑が多かった。中庭の噴水の所で日なたぼっこしたり、生徒会室の横で運動場みたり、橋から学校に続く土手がよかったです。

中原 その土手が校歌にある漆の堤です。

西川 クラブでも大和川まで走って行って向こうの砂場で遊び帰ってきた。大阪の田舎でした。

司会 針中野からこちらでも長ぐつがいましたね。登校するとき、漆の堤から落ちた人もいました。

高木 漆の堤を買収したのは43年でしょう。あのとき残しておくという意見もあったのですが、府教委がだめだといって流れました。今はどのようになっていますか。

岡田 アンツーカーの三角地になっています。

ラグビー部

野球部

西川 私らのとき、あそこで練習するから野球部つくってくれという声がありました。けれど、私たちは絶対反対で、野球したいなら野球部のある高校に行けとかいいました。やはりみんな自分のクラブが大事ですから。そのとき、サッカー部を筆頭に陸上、ハンドが強い勢力持っていました。それで「野球して練習中にぼくらにあたって、脳震盪（のうしんとう）でも起こしたらどないする」と反対していま

した。

**新田** 私たちのときも、ソフトボール同好会があつて。

**高木** ときどき、あれはできますね。

**西川** 今はラグビー部ができています。そういう点でも、ラグビーしたいのならしたらよい。生徒同志だからそんなにいがみ合わなくてもよいという感じですね。

**榎本** ラグビー部が同好会から部に昇格したとき、生徒会にいました。これも場所が問題になるのもめました。いちばんめめたのはお金です。予算が減りますので。しかし、ぼくのクラスにラグビーの者が多くて、友だちでもありましたので、新聞部の予算を減らすということで部にしましたが。これはよかったと思います。もしこのとき、しておかなければ、部にならなかったと思います。いちばんできやすかった時期です。ぼくは野球部もあった方がいいと思います。甲子園にでられなくても。

**新田** ないとバカにされる。練習の場がありさえすればね。

**榎本** ぼくとしてはつくりたくて、脳震盪の話がでましたが、当たる方が悪い、サッカー知ってるくらいやったらよけるといったんですが。

**新田** あの運動場ではできないですよ。

**榎本** 私としたら、野球したいというものもあるし、サッカーしたいというものもあるし……。

**西川** しかし、東住吉は野球がないというのは分っているから、入ってから、そういう運動するのはまちがっている。

**菊池** 我々の立場からいうと、ラグビー部ができたのは専門の先生が来られて、それならまかしても大丈夫ということで許可したのです。

**西川** 今聞くと、お金の面で優遇されているようですね。私はバスケット部でした。バスケットボール部の予算は15,000円で、

ボールが3個しか買えず、常に何かを我慢しながら一生懸命練習しました。今の人は全てを満足させてもらって、なおいいたいことをいっている感じですね。

## 現役とOBの連帯を

**佐藤** まだ母校の歴史は浅いですが、ますます現役、卒業生とも、連帯意識を高めていきたいですね。大学に入ったときは、余り東住吉がしられていないので、おもしろくないと思ったりもしましたが、時がたつにつれいいことばかり思い出されて、良い学校を卒業したと思っています。

**司会** 13期は東住吉の競争率が、歴史始まって以来いちばん高かった。

**西川** 私が願書を提出に来たとき、他の中学から団体で来ていました。それで受験者が多いと思いました。団体の間に混じり私の中学校からは私一人。



卒業式では感激して涙がポロポロ流れましたが、今の人はきっとそうではないでしょうね。

**柳沢** そのようなことはありませんよ。

**西川** 卒業式はみな同じですかね。

**佐藤** 卒業式の感激がさらに音楽でもり上げられるでしょう。

**西川** もう二度とは戻れないと思うと、やはりこの学校をでてよかったと思います。



## 卒業式委員会

岡田 特に西川さんらのとき、紛争が起こり第1回卒業式委員会ができて、送辞、答辞は練って練って大変でしたね。それが今は有名無実のようになってしまっ

西川 私、自分で答辞書かされて、小筆を持って。あれはホームルームで私のいないときに決められて。成績優秀でもないのに読まされました。それで感激ひとしおでした。今でもできるだけあのときの感激を忘れないようにしています。

司会 今では放送部が音楽担当して、がんばっています。

西川 私らのとき、音楽は校歌だけで、螢の光も何もなかった。

## 青いノックターン さらば 青春

佐藤 私らのときは、青いノックターンでこれをバックに答辞読みました。

柳沢 「さらば青春」というのも歌いましたね。

西川 「仰げば尊し」と「螢の光」で、小学校も、中学校も、高校も卒業できる人は幸せだと思います。その言葉の中を考えたらいわゆるはやりのポップスやロックなどない何かがある。それで過去何十年か受け継がれてきたと思います。そのようなところを伸ばして新しいものとマッチさせて上げていったらと思います。だから制服のなくなったのは淋しいと思います。

菊池 卒業式で「仰げば尊し」歌ったのはいつでしたかね。

岡田 2期とか3期と違いますか。

菊池 すると今年歌ったのは10周年後初めてではないですか。

司会 柳沢君どうですか。

柳沢 13期はほとんどお互いに見知ってい

ます。ぼくらは友達が6人ほどいて夏に旅行して、そこでも校歌を歌い応援歌で終わります。東住吉高校を卒業してすごく良かったと思います。今は少し変わってきたように思います。現代っ子的になりますね。

## 出でよ！女性会長

新田 すごく懐かしいですね。東住吉を出て良かったかといわれると、他の学校へ行ってたらまたその生活があったでしょうから一概には言えませんが、まあしたいほうだいさせてもらって、今から考えると情熱を持って3年間過ごしてきたことは非常によかったと思います。もうできないような大恋愛もし、失恋もしましたが良い思い出として残っています。いい先生にもめぐり会えました。女の生徒会長が出ないのは残念ですが。体育祭のとき入場行進で、会長は校旗をもって先頭を歩かなければいけないのです。校旗は重いので副会長の植上さんに持ってもらい歩いたのですが、右足と右手が同時に出るほど緊張しました。2年の前期で3年生たちといろいろ交渉し話し合ったのは精神的にしんどかった。当日腕が上がらずうしろから植上さんが「オイ青木、オチョクっているのか。手と足がおかしいぞ」と言われて、「イヤ、オチョクっているのと違うねん」と言ってどうにか一周しました。あとは本部席で進行の時間ばかり気にし、騎馬戦と棒倒しでは事故がないかと心配しました。何もかも終ってファイヤーの時やっと一息つけました。何もかも一生懸命でしたが、勉強だけはしたという記憶はありません。

## 改革の40年代

中原 40年代の私個人の感想ですが、私が赴任したときは創設4年目でいろいろ一生懸命やって来たのです。しかしある時期から音をたてて崩れる感じを持ちました。と

いうのは人数が多くなったし、狭い室内で先生も生徒も精一杯やっていると思いながらも今考えてみると、高木先生のおっしゃったとおり高度成長のひずみがでてきてその中で育った人間が入ってきて、学校の中も変わったと感ぜないではいられませんでした。やがて服装がかわり一年たって私転勤したのですが、東住吉隆々と発展していて沈滞には結びついていない。やはり日本社会が変わる中であらゆる生徒、先生同志が話し合っただけ古い良いところは残しながら新しい改革をなしてあげていった。それが40年代の終りに完成したと思う。だから50年代に第三期に入ると思うのですがますます発展して欲しいという感じですよ。

## 伝統は大切に

岩崎 いろいろとお話しを聞かせていただきました。私としては四人卒業させていただき今後も東住吉がますます良くなることを願い、良い伝統はできるだけ受け継いでいっていただきたいと思っております。

また制服はなくなりましたが、教育キャンプとか体育祭は残して欲しいですね。体育祭はあれほど感動することはないでしょうし良い体育祭にして欲しい。まだ残して欲しいものはあると思います。それは校風ですね。やはり東住吉の良い校風があると思うのです。どの父兄も、よい学校にしてほしいということに変わりはありません。PTAでも、初期の方々と御懇意にさせていただきいろいろとお話しを聞いております。それを受けついでいけると思っています。同じように当校の同窓会も25年、30年、50年たって大きく育つと思う。生いたちから今一つの形が整って太っていく時期で今までのことを反省しながらまた前進してもらいたいと思っております。

## 後輩の指導を

高木 ビールはレットルにより中味は決められると思うのですが、東住吉の卒業生は一生涯そのレットルをつけて歩くわけです。だから卒業生は現役を助けて指導して欲しい。以前は造園の専門の先生がいらっしゃり美しい芝生ができたと思うのですが、これからも緑豊かに育ててもらいたいと思います。

## 過去を見直す時

菊池 40年代は紛争の時代だと思うのですが、府立高校に関しては43年から47年までの5ヶ年間に紛争の年で、40年ころぼくは大手前にいましたが大手前高校が学園紛争の最初であって43年に東淀川に行きまされ5年間学園紛争にまき込まれ、48年本校に来た時はもう大体収まっていた。東淀川の5年と東住吉の5年は非常に違うわけで一口で言えば治った静かな5年でありましたが、この5年に生まれてきている状況はもう一度過去を見直すということで、新しい時代の動きであると同時に元に戻るという感じがします。それは先ほどからの補習とかいうようなことでも、昔のようにやることにはならんけれども過去数年間の状況であってはならんのかという風な空気が職員の間におこっている。その都度これが最もいいのだという具合にことが運ぶと思いますが、その姿が一体どのようになるのであろうかということが学校の大きな問題といえます。

司会 長時間いろいろとお話しいただきありがとうございます。今日はまずい司会でしたがみなさんのいいお話しに助けられました。ありがとうございました。

〔昭和53年8月21日月曜日午後1時から4時まで。三和銀行針中野支店会議室にて。〕

# 教育キャンプ



沢渡りキャンプサイト

## 誕生までの経緯

初代校長 堀江 駒太郎

従来の修学旅行については以前から疑問を抱いていたので創設当初から幾度か教職員と論議を交わし、又東住吉区内の小中学校の修学旅行の行先も調べ、更に大阪学芸大学の教育研究室の教授や教育委員の意見も徴した上廃止と決定した。その代わりに2年の夏休みにキャンプを実施する事とし1期生の1年生の夏休みに事前指導の意味もかねて河内長野市の延命寺で宿泊訓練を行なった。その直後小野教頭を中心に数名の教職員に静岡山梨長野の三県に赴き候補地を調査してもらった。その結果、長野県の霧ヶ峯と決定し翌年5月にはPTA会長片岡氏にも実地視察をしてもらった。又一方浜田教育長の好意ある協力を得てYMCAの松田氏を紹介していただいた。最初の教育キャンプの際は現地で松田氏の懇切な御指導をいただいた。松田氏が1日早く現地を去られた時生徒諸君が泣いて別れを惜

しんだのも忘れ得ない事の一つである。何分全校生徒のキャンプは未経験の事である上に現地はその名の示す通り気候の変化の烈しい所であるだけに不安も多かった。従って最高責任者として重大な責任を感じざるを得なかった。万一の場合の事も考えひそかに辞表を用意しておったが、第1回のキャンプが成功裏に終わったので帰宅と同時に焼却してしまった。以来10年教職員各位の献身的な努力と数多い人々の暖い御協力を得て教育キャンプは幸いにして今日まで続けることができた。

(10周年記念誌より)

## 蓼の海から沢渡りへ

旧職員 山岸 正孝

2学年の全員を一同にして行うため、先づ上諏訪までの輸送の見通しのついた5月の終り、肥田、日下両先生と私は学年の同意と諒解を得て、全権を委任され、今までやった事のない霧ヶ峰高原にテントを張ろうと交渉に

出た。高原に登る途中、1回から4回までテントを張った藜の海に立ち寄って見ると、南側宿舎が前年の伊勢湾台風のため、影もなく例年テントを張った山林は倒木のため、到底使えそうになかった。もし上が駄目なら、ここを使はせてもらおうと思っていた気持はここで捨てねばならなかった。是が非でも400人を霧ヶ峰に上げねばならないと覚悟を決めて、上に登った。霧ヶ峰の表玄関、強清水はキャンプ地はある。しかし私の目標には少し不満であり、水も乏しい。私は地図で沢渡りの流れを見つけ、そこの山小屋に案内してもらい、ヒュッテ・ジャベルに着いた。突然訪れたため主人不在であり、留守役の大高氏に主旨を説明し翌日再び主人に会うため、山に登った。幸いに主人の高橋氏は初対面、何の関係もない人だったが、快よく我々の目的と主旨に同意して下さった。1回から4回まで毎年この霧ヶ峰を訪れていた経歴が大いに生かされたものと思い、先人の苦労と努力に私は感謝の念を抱いた。高橋氏の御厚意と御協力を得て、山の上でのスケジュールが次々とできて行った。山小屋とテントを半分ずつで交代するため、万一ひどい雨にたたられた時、2倍の収容人員が欲しかったため3軒に交渉した。1軒は少し離れていて不便であったが始めて行く400人という人数と、初めての場所であるという不安が、どうしても私を慎重にさせてしまった。沢渡りの流れは十分であり、水質も良い。周辺は喬木限界を過ぎ、灌木が所々に点在するのみの草原帯であり、7月の中頃、一面にニッコウキスゲのお花畑となる所である。テントサイトはその草原のなだらかな傾斜に張らせてもらう事にした。すぐその前に谷川があり、冷たい清らかな水が流れているのだ。恐らくキャンプを張るとするなら、これ程すばらしい場所は他にないまいと私は思った。こうして私達はキャンプ計画の骨組みを作った。後はキャンプに伴う種々の準備があるばかりだ。例年御厄介になる

地元の諏訪市をはじめ、大阪の種々の関係方面にも御無理を願った。学校では例年の如く生徒のキャンプ組織を作り、物資の調達、整備、健康診断などを行った。特に学校での準備は十分な配慮が必要であった。即ち山小屋には電気も、水道も、電話もなく忘れ物もすぐには調達できない。まして病人を出せば困る事が分かっている。これらを考えた上で、よほど慎重でなければならなかった。16ミリ映画撮影を兼ねジープ一台を諏訪市から、お借りしておいたのもそのためである。6月の終り、臨時列車の取消など、苦しい事態もやって来たが学年一団となって、それを乗り切り、万全の準備にかかり、スケジュールと目的の骨子は一切崩す事はなかった。我々の使った沢渡りは霧ヶ峰高原のほぼ中央にあると言える。表玄関強清水に徒歩約40分、車山に約50分八島原湿原に約30分、それらはすべて満開のニッコウキスゲの咲き乱れる草原帯である。霧ヶ峰の最高峰車山1925米を眼前に眺め、キャンプサイトより少し上ると、広大な八島原の湿原が見渡される。正確には今分らないが、恐らく、海拔1650米位の場所であったろう。そのため、気温の差が大きく、昼野外で30℃を越し、夜は10℃近くまで下がる事があった。しかし水量は豊かであった。水源は車山の裾にある車山湿原ともう一つはヒュッテ・クヌルツプの前の谷合から湧き出した泉とが、ヒュッテ・ジャベルの前で合流している。観音沢の上流に当る場所だ。沢渡りには夏の特定の時期のみ、日に2～3回高原バスがやって来るので、バスで乗り込める道があり、物資、キャンパーの輸送は便利である。しかしここには前述のように電気もなく山小屋の一軒には風呂もなく、ランプの光で夜を越し、川の流れで汚れを落さねばならない。沢渡りから西北の八島原湿原にかけて、高山植物、高層湿原の天然記念物保護地域の指定があり、キャンプサイトがその指定地域のすぐ隣りであるため、キャンパーには一本

の草花も大切にす様、強く呼びかけておいた。一般のキャンパーは殆んど入る事なく、一般は2km程離れた強清水にテントを張っていた。完全に隔離された我々だけのキャンプはより教育的効果を上げ得たと思う。これもひとえに各関係方面の御理解ある御厚意に他ならない。

(学園の歩み第5号より)



七島八島

## 沢渡りより県営キャンプ場へ

昭和50年頃には生徒人数が増加して、山小屋での収容がむずかしく、またキャンプサイトのお花畑は国立公園のため、規制がきびしく従来通りできなくなってきた。一方、強清

水の県営キャンプ場はやや俗化しているが整備され、多人数の収容も可能なので移る事になった。

### キャンプ年表

入学 期	実施 学年	交通機関	宿 泊 地 (数字は宿泊数)	ハイキングコース	備 考
1	2	近鉄・国鉄	夢の海宿舎2, 夢の海宿舎前テント1	車山, 八島湿原	基地を夢の海に置く, 費用2800円
2	2	国 鉄	同 上	同 上	
3	2	国 鉄	同 上	同 上	二団に分割
4	2	国 鉄	上諏訪旅館1, 夢の海宿舎1, 夢の海テント1, 夢科旅館1,	車山, 八島湿原, 白樺湖, 八子ヶ峰	二団に分割
5	2	国 鉄	ジャベル・クヌルupp2, 沢渡りテント1, 上諏訪旅館1,	車山, 八島湿原, 白樺湖	基地をジャベル・クヌルuppに置く
6	2	国 鉄	同 上	同 上	卒業生が助手として カウンセラーつき始める
7	2	近鉄・国鉄	上諏訪旅館1, ジャベル・クヌルupp1, 沢渡りテント1, 河口湖1,	車山, 八島湿原	二団に分割
8	2	近鉄・国鉄	ジャベル・クヌルupp2, 沢渡りテント1, 上諏訪旅館1,	同 上	
9	1	バ ス	上諏訪旅館1, 夢の海宿舎1, ジャベル・クヌルupp1, 沢渡りテ ント1, 静岡バス1,	同 上	帰路に登呂遺跡見学
10	1	バ ス	沢渡りテント1, ジャベル・クヌルupp2, 上諏訪旅館1,	同 上	二団に分割
11	1	国 鉄	沢渡りテント1, ジャベル・クヌルupp・御射山2, 山田温泉1,	同 上	
12	1	バ ス	ジャベル・クヌルupp1, 沢渡りテント1, 夢の海宿舎1, 上諏訪旅館1,	同 上	帰路に河口湖, 白糸の滝見学, 費用5600円
13	1	バ ス	同 上	同 上	同 上
14	1	バ ス	同 上	同 上	
15	1	バ ス	ジャベル・クヌルupp1, 沢渡りテント1, 県営キャンプ場1, 上諏訪旅館1,	同 上	
16	1	バ ス	ジャベル・クヌルupp1, 沢渡りテント1, 夢の海宿舎1, 上諏訪旅館1,	同 上	
17	1	バ ス	同 上	同 上	
18	1	バ ス	同 上	同 上	
19	2	バ ス	御岳高原荘1, ジャベル・クヌルupp1, 青少年旅行村(和田峠)1, 上諏訪旅館1,	車山, 八島湿原, 鷲ヶ峰	
20	2	バ ス	県営キャンプ場3, 上諏訪旅館1,	車山, 八島湿原, 白樺湖, 横岳	
21	2	バ ス	同 上	車山, 八島湿原, 御泉水	
22	2	バ ス	同 上	車山, 八島湿原	
23	2	バ ス	同 上	同 上	
24	2	バ ス	県営キャンプ場3又は青少年旅行村(和田峠)3, 上諏訪旅館1,	同 上	費用 18500円



ニッコウキスゲ



強 清 水



八 島 湿 原



ヒュッテジャベル



美ヶ原



マツムシソウ



諏訪湖



夢の海



白樺湖

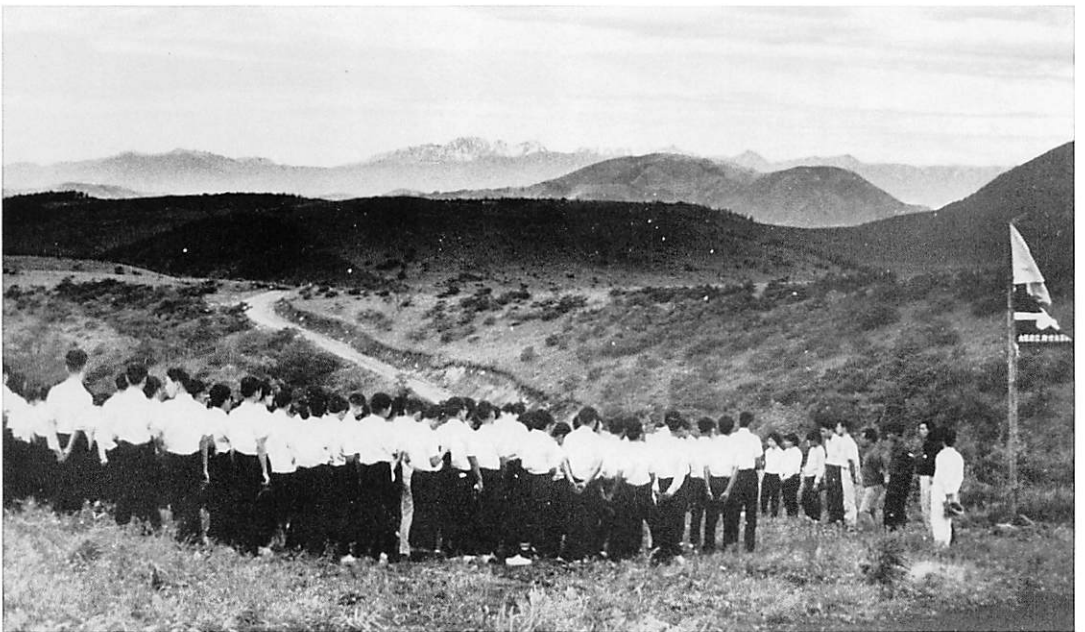


名古屋駅



初期のころはクラス人数が多いため、バスがいっぱい、荷物が積めないで、コンテナを利用しました。

開村式



校庭



パネル運び





初期の蓼の海や沢渡りでは、炊事用の薪はすべて近くの山から集めていました。特にカラマツの枯木はパチパチとよく燃えました。



沢渡りのブトはすごかった。スカートの中まで入って来て、その後遺症が一年も続いて大変でした。またあるとき、目ぶたを刺された生徒に、校長先生がムヒを塗って、目があけられなくなったこともありました。



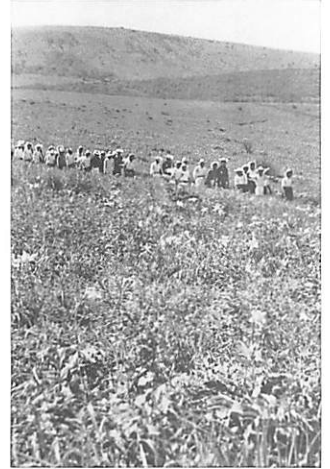
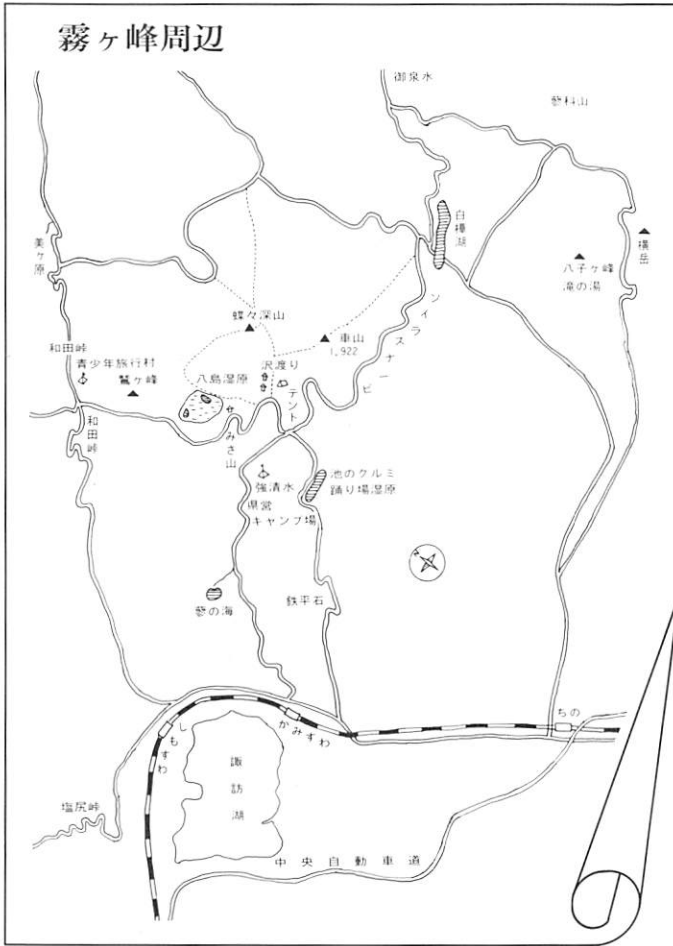
カレーライス



おにぎり

沢渡りの小川の炊事場は岩がゴロゴロしているので、炊きあがった大きな鍋をひっくり返したりして、炊事も大変でした。





蝶々深山



霧ヶ峰

朝3時頃沢渡りを出発、毛布をまいて寒い中を登ります。頂上でガタガタふるえて、御来光を待ちますが、ほとんど見えません。見た人はよほど幸運な者です。



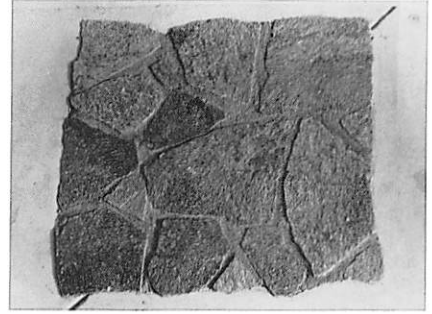
御来光



美ヶ原



鉄平石



三期生では鉄平石をとってきて、噴水の横のコンクリートに埋めこみ、霧ヶ峰の思い出としました。



テント



バンザイ!

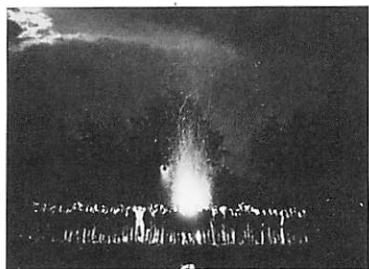
ニッコウキスゲ



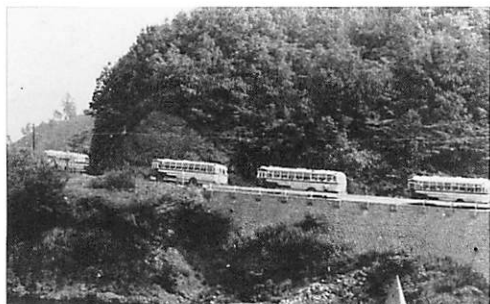


六期から卒業生のカウンセラーにお世話になっています。テント張り、火のつけ方、配給などいろいろと助力をいただき、カウンセラーの働きは多大です。

霧ヶ峰名物の霧はロマンチックだが、また一方では恐ろしい。雨と霧にたたられた17期のあるクラスは、車山から降りる途中、全員行方不明……となったこともありました。



木曾路の旧国道は舗装もなく、狭い道路で10期の時には対向車がきて、バスを誘導している車掌さんが土手から転落したこともありました。幸い軽傷でした。



この白樺の仲間が、昨年まで本校中庭で涼しい蔭を作っていました。3期生が盗難に遭ったのもこの湖畔です。

# 資料にみる25年

## 沿 革

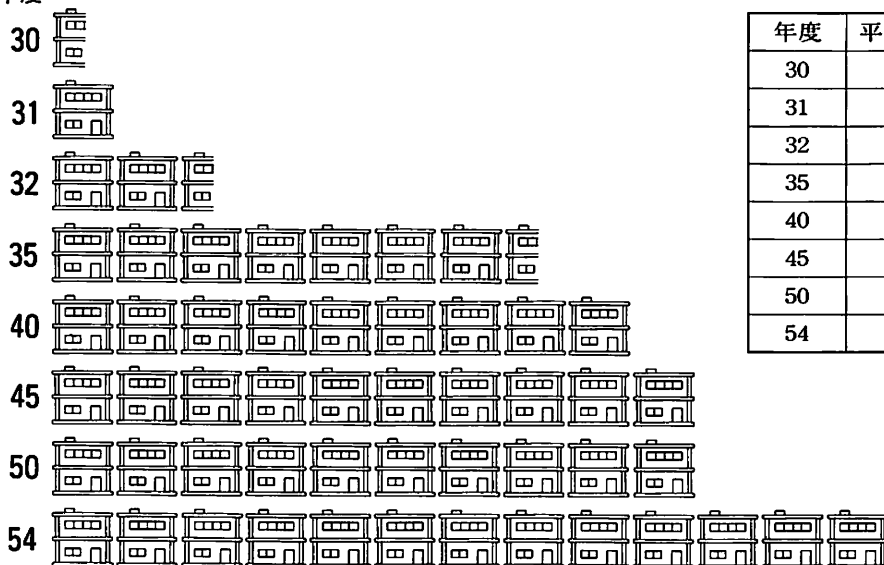
(昭和年月日)

27・3・1	東住吉地区高等学校建設委員会創立	5・21	テニスコート(1面)バレーコート(2面)完成
30・3・16	大阪府立東住吉高等学校と称し創立	7・21	教育キャンプ(蓼ノ海)
	堀江駒太郎校長事務取扱いを命ぜらる	10・1	校地2100㎡を拡張
	設立準備室を府立天王寺高等学校校内に置く	11・29	第2回中学訪問学級対抗駅伝・22.4km 2年2組優勝
3・17	第1回入学者選抜考査(天王寺高等学校にて)	32・3・15	第2期工事竣工(本館東)
3・24	事務所を大阪市立摂陽中学校内に移転	4・25	スクールカラー みどり
4・1	校長以下職員15名任命		スクールフラワーばら
4・5	中野町100に移転。第1回教官会議		スクールツリー いちょうに決定
4・8	第1回入学式 入学者150名(3学級)	5・23	校歌歌詞完成、作曲依頼
	P T A創立総会	7・18	校旗をデザインし発注
5・13	制服決定(夏服一男子は白半袖開襟、女子は白半袖ブラウス。防寒具着用禁止。男子丸刈。)	10・13	創立3周年記念式挙行、校歌披露
10・20	生徒愛誦歌集編集	33・2・25	第1回卒業式(136名)
11・10	宿泊訓練(霧ヶ峰教育キャンプ)計画成る	3・31	第3期工事竣工(木造東・理家東・自転車置場)
11・28	新校地にHの人文字を書く	4・31	第3種公認グラウンド完成
12・10	地鎮祭 第1期工事開始	12・24	第1回スキー講習会、新潟県関スキー場、参加者男子14名、女子4名
31・2・9	出身中学訪問学級対抗駅伝20.5km 1年2組優勝	34・1・12	第4期工事竣工(理家西)
2・21	新校舎落成記念ファイヤー Storm	2・1	同窓会発足
3・31	第1期工事竣工(木造西)	2・6	男子長髪許可
4・5	摂陽中学から新校舎に移転	10・10	南側2244㎡を買収して校地を拡張
		35・3・12	第5期工事竣工(本館西・体育館・音楽室)
		5・12	学校安全会入会を決定
		7・20	卒業生、教育キャンプを手伝うことになる。
		10・13	プール完成

- |          |                           |         |                    |
|----------|---------------------------|---------|--------------------|
| 36・2・18  | 断郊競走（マラソン）                | 2・18    | 私物ロッカー、クラスルームに設置   |
| 3・31     | 第6期工事竣工（柔道場・自転車置場・部室）     | 12・16   | 卒業式の送答辞は生徒の自主作成となる |
| 6・17     | プール・柔道場開き                 | 45・4・1  | 高木隆校長任命            |
| 37・4・1   | 葭原泰雄校長任命                  | 7・2     | 同和教育についての職員研修会はじまる |
| 7・5      | 食堂設計図完成、名称は公募の結果「緑友会館」と決定 | 46・3・28 | 図書館工事竣工            |
| 38・1・10  | 食堂、営業開始                   | 4・22    | 同和推進委員会設置          |
| 2・28     | 急増対策校舎竣工                  | 9・9     | 光化学スモッグ対策の連絡法等確立   |
| 39・10・15 | 10周年記念行事                  | 47・3・1  | 生徒服装検討委員会設置        |
| 12・7     | 更衣室・渡廊下等増築工事竣工            | 12・1    | ストーブ、各教室に設置        |
| 40・3・31  | 緑友会館増築工事竣工                | 48・4・1  | 菊池通夫校長任命           |
| 10       | 体育祭は生徒会主催となる              | 11・22   | 朝礼制度廃止             |
| 41・10・18 | 41年度「花と緑の運動モデルスクール」の指定をうく | 12・6    | 服装自由化決定            |
|          | 防寒具着用を許可                  | 51・1・3  | 部室消失               |
| 42・3・25  | 南西隅の三角地買収                 | 53・1・19 | 週番制度廃止             |
| 4・1      | 斉藤貫校長任命                   | 7・31    | 増築工事竣工（南北4階）       |
| 43・5・9   | 宿直制度廃止、警備員配置              | 9・1     | 木造鉄筋化工事着工          |
| 44・1・16  | 図書館新築建設実行委員会発足            | 54・4・1  | 北辻要校長任命            |

## 校舎延面積の増加

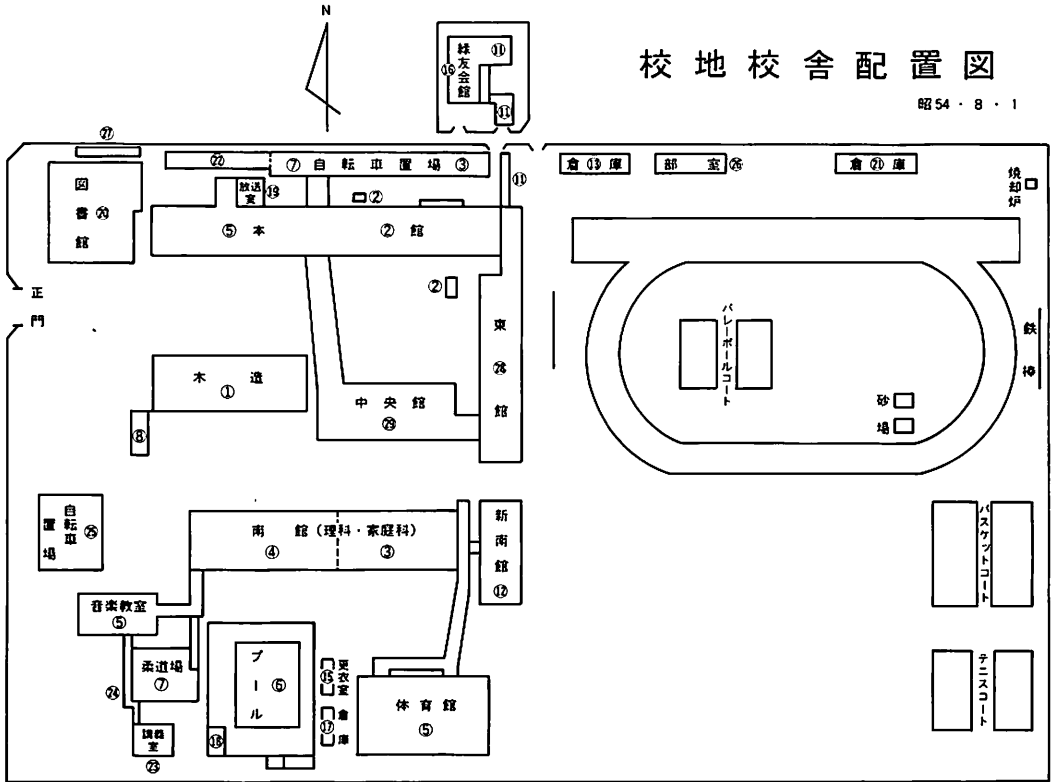
年度



年度	平方メートル
30	508
31	957
32	2,537
35	7,484
40	9,290
45	9,776
50	10,602
54	13,101

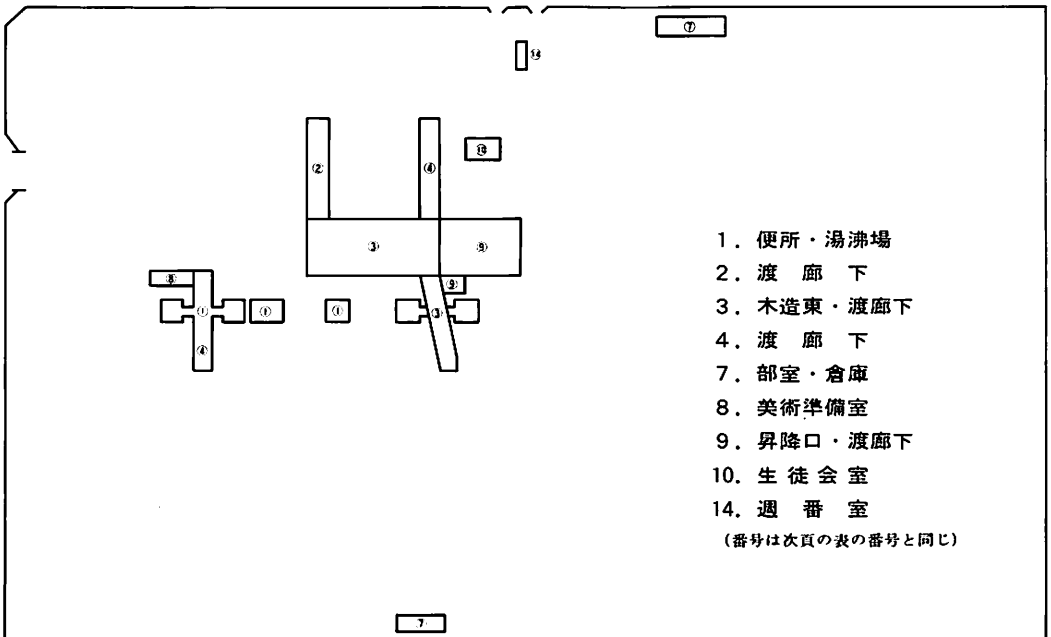
# 校地校舎配置図

昭54・8・1



# 撤去校舎図

昭54.8.1



1. 便所・湯沸場
  2. 渡廊下
  3. 木造東・渡廊下
  4. 渡廊下
  7. 部室・倉庫
  8. 美術準備室
  9. 昇降口・渡廊下
  10. 生徒会室
  14. 週番室
- (番号は次頁の表の番号と同じ)

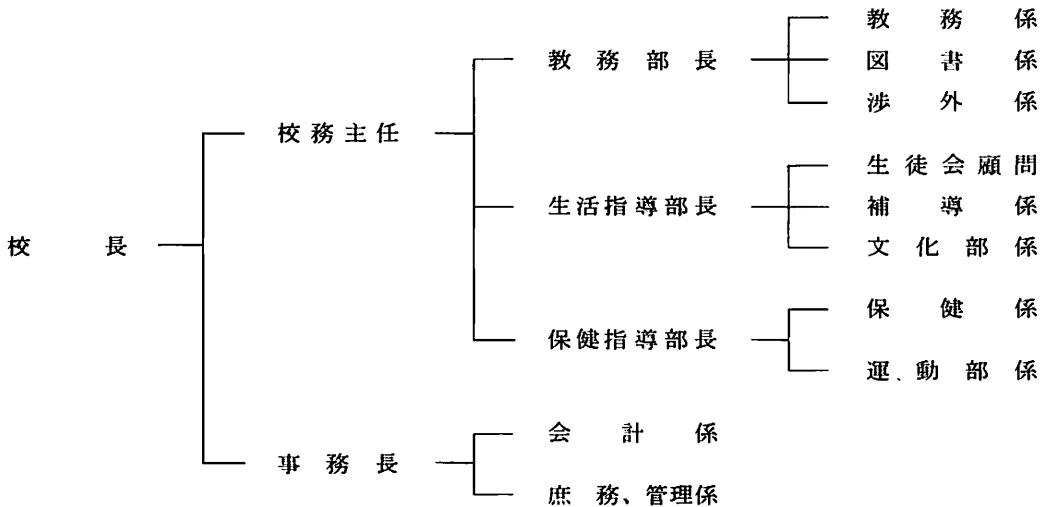
# 校舎竣工年月

( ) 内は現存せず

番号	年 月 日	名 称
1	31・3・31	木造西・(便所)・ (湯沸場)
2	32・3・15	本館東・浄化槽ポンプ 室・電気ポンプ室・ (渡廊下)
3	33・3・31	(木造東)・自転車置場 理家棟東・便所・(渡廊下)
4	34・1・12	理家棟西・(渡廊下)
5	35・3・12	本館西・体育館・音楽室 渡廊下
6	35・10・13	プール
7	36・3・31	柔道場・自転車置場・ (部室)・(倉庫)・渡廊下
8	36・9・8	相談室・(美術準備室)
9	37・9・19	(昇降口)・(渡廊下)
10	37・10・20	(生徒会室)
11	37・12・25	食堂・渡廊下
12	38・2・28	新南館

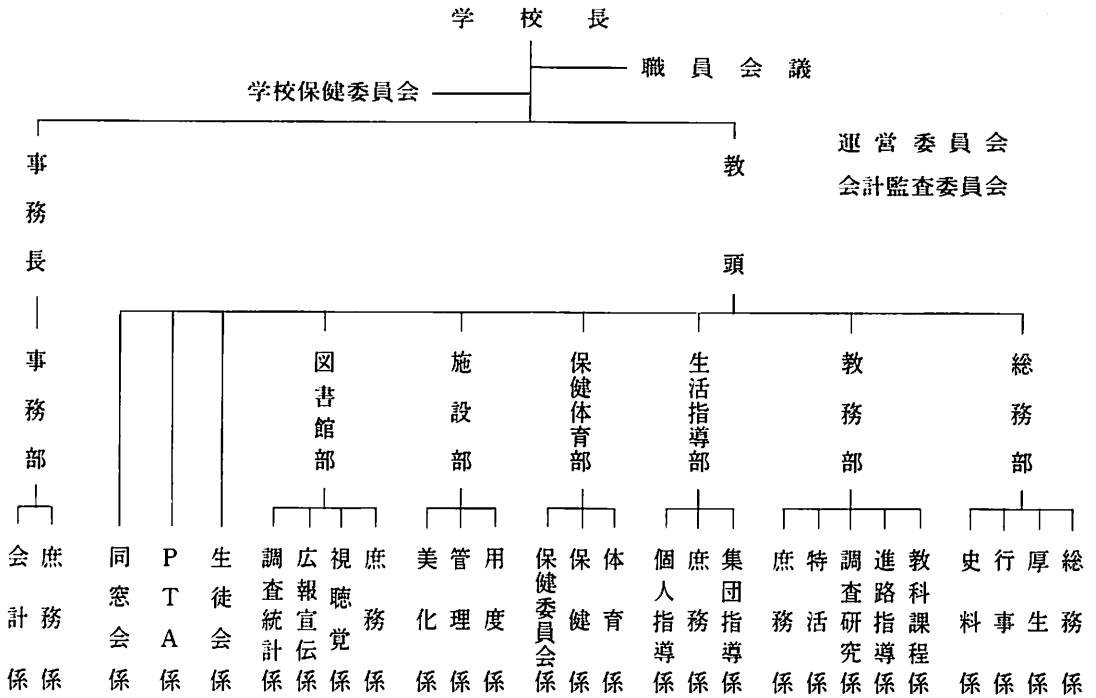
番号	年 月 日	名 称
13	38・3・31	倉庫
14	38・9・30	(週番室)
15	39・12・3	更衣室・渡廊下
16	40・3・31	緑友会館—2・3階—
17	41・12・7	倉庫
18	43・3・28	プール濾過ポンプ室
19	44・6・13	放送室・倉庫
20	46・3・28	図書館
21	46・11・22	倉庫
22	47・12・9	自転車置場
23	48・9・16	講義室
24	49・9・5	渡廊下
25	51・3・29	自転車置場
26	53・3・28	部 室
27	53・3・30	自転車置場
28	53・7・10	東 館
29	54・7・6	中央館

## 昭和30年度 分掌組織

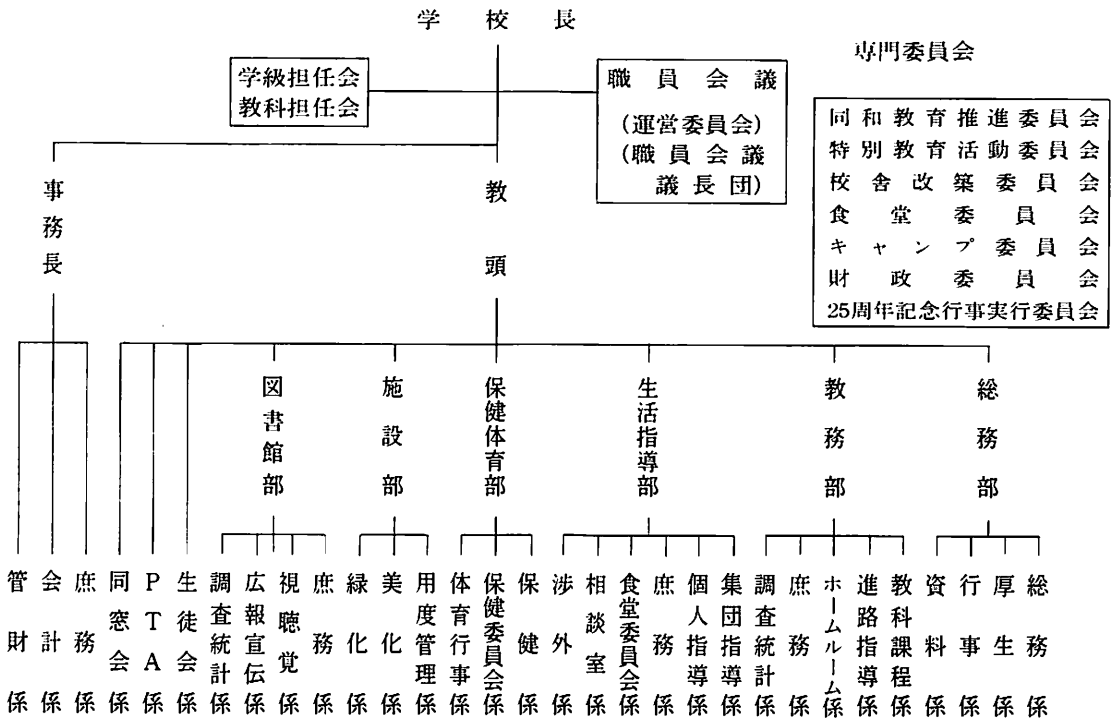




昭和36年度 分掌組織



昭和54年度 分掌組織



# 年間行事予定表

昭和30年度

月	日	曜	行 事
4	1	金	開校打合せ
	2	土	建設委員会
	3	日	開校準備職員会議
	6	水	P T A 創立発起人会
	8	金	入学式 P T A 創立総会 始業式
	22	金	身体検査
5	26	火	レントゲン撮影
	7	土	金剛登山
	9	月	防火演習
	14	土	保健委員会設置
6	23~26		中間考査
	7~11		此の間校内研究授業
7	13~16		期末考査
	23	土	終業式 P T A 学級会総会
9	26~30		水泳指導
	1	木	始業式
	5	月	防火演習
	15	木	公開授業、P T A 総会
10	下		府下総合体育大会
	14	金	開校式・記念運動会
11	下		中間考査
	上		結核検診
12	14	月	防火演習・防火診断
	中		期末考査
	26	月	終業式
1	下		P T A 学級会
	9	月	始業式
2	下		文化祭
	上		マラソン
3	上		期末考査
	19	月	終業式
	下		P T A 学級会・総会

備 考

1. 日帰遠足……年2回
2. 夏期特別行事は別に計画する。

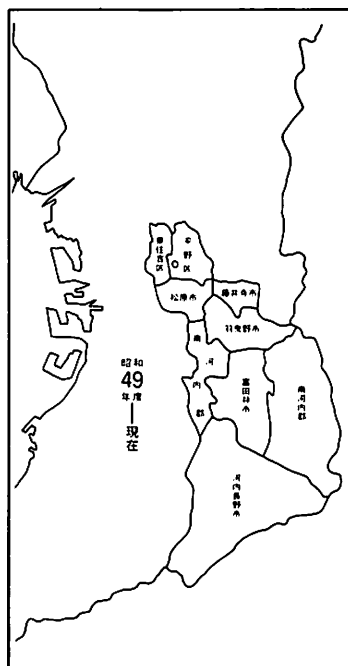
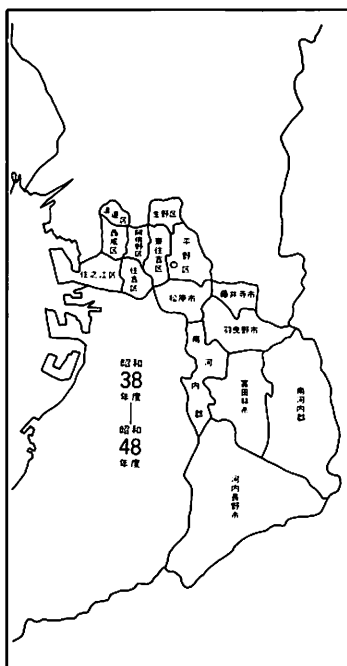
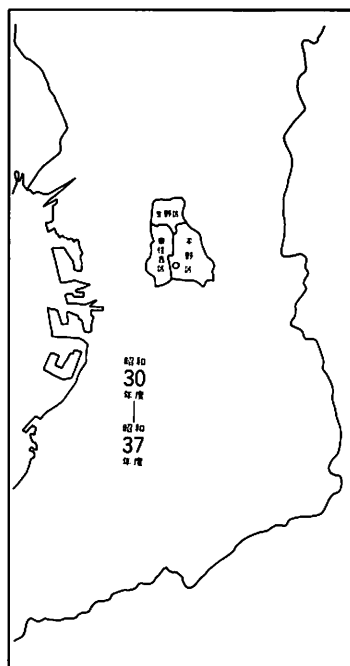
昭和54年度

月	日	曜	行 事
4	7	土	転入学考査
	9	月	始業式・着任式・入学式
	10	火	離任式
	11	水	対面式
	13~14	金~土	一年心電図検査
	18~20	水~金	健康診断
	24	火	P T A 総会
	24 25	火 水	検 尿
	27 28	金 土	三年実力テスト
	5	14	月
18		金	心臓検診
20		日	体 育 祭
30		水	防災訓練
6	1~5	金~火	中間考査
	3	日	同窓会総会
	6~14	水~木	球技大会
	8 9	金 土	レントゲン間接撮影
	11	月	職員胃検診
	13 14	水 木	文楽鑑賞(1・2年)
	18	月	職員健康診断
	19	火	P T A 総会・学級懇談
	23	土	結核精密検査
	26	火	水質検査
7	27	水	P T A 学年懇談会
	28	水	レントゲン直接撮影
	2	月	合宿参加者心電図
	4	水	キャンプ参加者健康診断
	7~12	土~木	期末考査
	8	日	合宿参加者健康診断
	12	木	安全点検
	13 14	金 土	水泳講習
	20	金	終業式
	21~31	土~火	三年補充授業
8	23~27	月~金	二年教育キャンプ
	21~30	火~木	三年補充授業

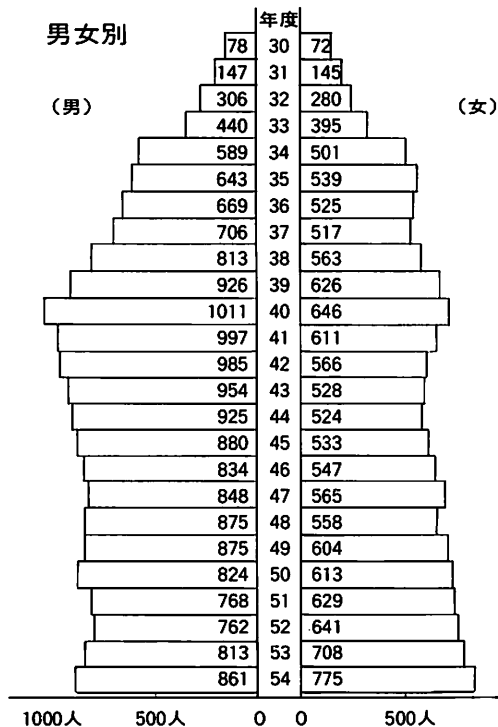
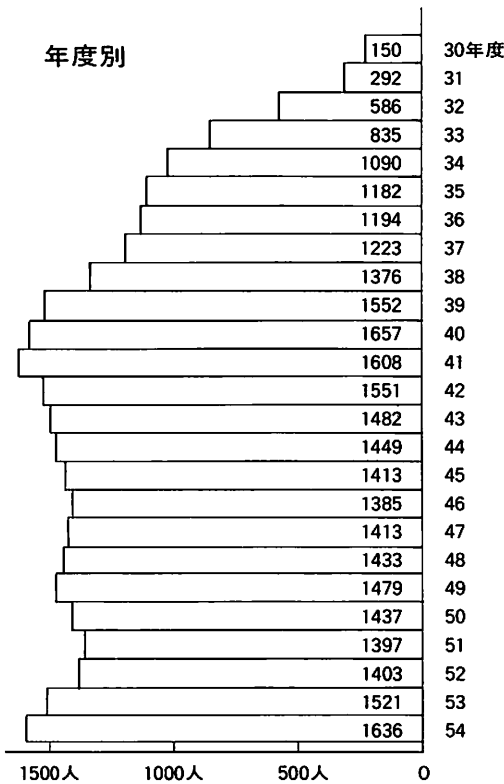
月	日	曜	行 事
8	31	金	転入学考査
9	1	土	始 業 式
	3～5	月～水	実力テスト
	7	金	中間成績会議
	22 23	土 日	文 化 祭
	26	水	歯科健康相談
10	3～9	水～火	球技大会
	15	月	創立記念日
	16	火	環境調査
	26～30	金～火	中間考査
11	5	月	結核精密検診
	2	金	登 山
	13	火	P T A 総会・学級懇談会
	14	水	レントゲン直接撮影
	14 15	水 木	三年実力テスト
	30	金	防災訓練

月	日	曜	行 事
12	12～17	水～月	期末考査
	24	月	終 業 式
1	8	火	始 業 式
	26～31	土～木	三年学年末考査
	29	土	環境調査（換気）
2	1	金	防災訓練
	6	水	耐寒訓練健康診断
	14	木	耐寒訓練・卒業判定会議
	23	土	卒業式予行
	25	月	卒 業 式
	28～3/4	木～火	一・二年学年末考査
	4	火	安全点検
3	11	火	進級判定会議
	14	金	スキー参加者健康診断
	15	土	終 業 式
	26～30	水～日	スキー講習

## 通学区域



# 在生徒数



# 教科課程

入学期	30年度(1期生)			31年度(2期生)			32年度(3期生)~ 37年度(8期生)							
	学 年	1	2	3	1	2	3	1	2	3				
教科 科目	コース	家庭	普通	家庭	普通	家庭	普通	家庭	普通	家庭	普通	家庭	文 科	理 科
	国 語	国語 甲	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
国語 乙		(2)	2	2	2	3	(2)	2	2	2	2	3	2	2
漢 文		2					2							
社 会	一般社会	4					5							
	社 会									2				
	日本史			3	3					3		3		3
	人文地理			3	3		2	2			5	4		5
	世界史	5	5	2	2		3	3			5	5		
数 学	解析 I	4												
	解析 II		4	6	4	5								
	幾 何	1												
	数学 I						6	3	3		6	3	3	
	数学 II								3	3		3		3
数学 III									5			5	5	
理 科	生 物	2	3	3	2	2	3	3		2	3	3		
	化 学	3	2	3	2	3	2	2		3	2	2		
	物 理			3	5				3	4			5	3
	地 学								3					3
保 健	保 健	1	1			1	1	1	1		1	1	1	1
体 育	体 育	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
外 国 語	英 語	5	5	6	3	5	6	4	5	3	5	6	4	5
	独 語	(2)	(2)				2							
芸 術	書 道													
	音 楽													
	図 画	2	2	2	(2)	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	美 術													
家 庭	一般家庭	4	4			4	4			2				
	被服食物				7				7			4		4
小 計	35	34	32	34		32							32	
特別教育活動	1	1	2	1		2							2	
総 計	36	35	34	35		34							34	

## 進路状況

(過去25年間進学就職数集計表-10)  
位まで一過年度卒業者を含まず。)

入 学 期		38年度(9期)~47年度(18期)						入 学 期		48年度(19期)~					
学 年		1	2	3				学 年		1	2	3			
教科 科目	コース			教養	文科	理科		教科 科目	コース			文科	理科		
	国語	現代国語	3	3	3	3	3		2	国語	現代国語	3	2	3	2
	古典乙Ⅰ	2	3						古典Ⅰ乙	2	3				
	古典乙Ⅱ			3	3	3			古典Ⅱ			3	3		
社会	倫理・社会		2					社会	倫理・社会		2				
	政治・経済			2	2	2			政治・経済			2	2		
	日本史			3	3	3			日本史			4	3		
	世界史B		2	2	2	2			世界史		3	2△			
	地理B	4							地理A	3					
数学	数学Ⅰ	6						数学	数学Ⅰ	6					
	数学ⅡB		6						数学ⅡB		5				
	数学Ⅲ			5	5	6			数学Ⅲ			4	7		
理科	物理B		3	2	2	3		理科	物理Ⅰ		3				
	化学B		2	3	2	3			化学Ⅰ		2				
	生物	4							生物Ⅰ	3					
	地学	2							地学Ⅰ	2					
保健体育	体育	男3 女2	3	3	3	3		保健体育	物理Ⅱ				3△		
	保健	男1	1						化学Ⅱ			3	4		
芸術	音楽Ⅰ							芸術	生物Ⅱ			2×	3△		
	美術Ⅰ	2	男2						地学Ⅱ						
	書道Ⅰ								保健体育	男4 女2	男4 女2	3	3		
	音楽Ⅱ								体育	保健	1	1			
	美術Ⅱ			2	2				音楽Ⅰ						
外国語	英語B	6	6	5	6	6		美術Ⅰ	2	2					
	家庭	家庭一般	女2	女2				書道Ⅰ							
小 計	33						小 計	32							
	特別教育活動							2							
総 計		34						総 計		34					
その他の特別教育活動		3						家庭		家庭一般 女2 女2					

⑥ ×△の印は、選択科目であり、同じ印のうちのどちらかを選ぶべきものであることを示す。

国公立大学	人数
大阪市立大学	223
大阪府立大学	154
大阪教育大学	135
和歌山大学	61
信州大学	38
神戸大学	37
大阪外国語大学	33
奈良教育大学	21
三重大学	19
鳥取大学	16
京大・大阪大 その他	325

私立大学	人数
関西大学	1184
近畿大学	557
立命館大学	464
大阪工業大学	332
大阪経済大学	284
龍谷大学	279
同志社大学	271
関西学院大学	228
桃山学院大学	201
甲南大学	150
早稲田大・大阪薬大 その他	1241

短期大学	人数
武庫川女子	175
大谷女子	143
関西外国語	107
帝塚山学院	101
大阪基督教	87
京都女子	73
常磐会	66
四天王寺女子	58
大阪女子学園	44
金蘭	43
プール学院・大阪音楽 その他	405

専 門 学 校 等	人 数
公 衆 衛 生 学 院	51
大 阪 市 衛 生 研 究 所 栄 養 学 院	12
貿 易 専 門 学 院	11
大 阪 厚 生 学 院	10
水 産 大 学 校	8
成 人 病 セ ン タ ー 看 護 学 校	8
大 阪 保 育 学 院	7
国 立 大 阪 南 病 院 衛 生 検 査 技 師 学 校	7
職 業 訓 練 大 学 校	6
国 立 大 阪 南 病 院 看 護 学 校	5

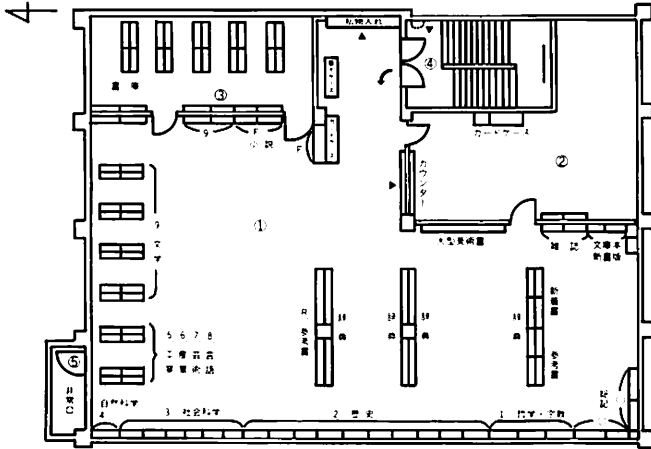
就 職 先	人 数
三 和 銀 行	51
ト ー メ ン	27
住 友 銀 行	26
協 和 銀 行	25
大 和 銀 行	25
小 泉 産 業	23
丸 紅	23
大 和 玩 具	22
日 本 生 命	21
電 電 公 社	20

昭和54年度 進路状況 (過年度卒業生を含まず)

国立大学	佐賀医科	1	立命館	17	神戸学院	4	大阪信愛	1	南大阪検技	5	長谷川法律事務所	1
北海道	宮崎	2	竜谷	22	聖和女子	1	大阪成蹊	1	清景二会医	1	辰巳商会	1
室蘭工業	鹿兒島	3	大阪音楽	1	武庫川女	8	大谷女子	16	大阪歯大衛	1	谷法律事務所	1
茨城	公立大学		大阪経済	3	帝塚山	2	関西外語	24	関西歯衛	1	野村証券	1
新潟	横浜市立	1	大阪芸術	4	天理	4	関西女美	1	関西医療検	2	関西電力	1
金沢	京都芸術	1	大阪工業	26	奈良	2	金蘭	6	南大阪看護	2	松坂屋	1
山梨	大阪市立	7	大阪産業	1	福岡歯科	1	四天王寺	6	大阪病院護	1	読グループ	1
信州	大阪府立	9	大阪歯科	1	長崎総科	1	樟蔭女子	1	奈良病院護	1	三越	1
静岡	神戸商科	1	大阪樟蔭	12	大分工業	2	聖母女院	1	大坂市大護	1	朝日新聞	1
三重	姫路工業	1	大阪商業	1	短期大学		帝塚山院	10	成人病看護	1	広田証券	1
京都工織	私立大学		大阪体育	3	新潟医技	1	常磐会	7	関西准看護	1	大阪市信用金庫	1
大阪外語	東北薬科	1	大阪電通	6	信州医技	1	プール	3	大阪労災護	1	安田ビル	1
大阪教育	東北歯科	1	大谷女子	4	大阪医技	6	甲南女子	1	大阪薬学門	1	大阪ガス	1
神戸	城西歯科	1	追手門	1	京都府女	1	神戸常磐	1	大阪貿易門	1	トヨタローラ	1
奈良教育	創価	1	関西	42	大阪社事	1	神戸山手	1	天王寺経理	1	大阪変圧器	1
和歌山	東海	1	関西外語	5	大阪看護	5	園田学園	2	日ビジネス	1	武田薬品	1
鳥取	東京農業	1	近畿	55	奈良県立	1	武庫川女	16	大ビジネス	1	住友金属	1
鳥根	北陸	1	四天王寺	2	福岡社保	1	帝塚山	2	名古屋電通	1	三好病院	1
岡山	名古屋保健	1	摂南	3	京都女子	10	奈良芸術	1	京都コンピュター	1	三菱銀行	1
山口	京都外語	3	帝塚山院	2	成安女子	1	奈良佐保	1	兵庫職訓	1	住友銀行	1
徳島	京都産業	4	桃山学院	14	竜谷大学	3	大 学 校 等		就 職		そ の 他	3
香川	京都女子	4	関西学院	10	大阪音楽	3	防衛大学	1	国家公務員	6		
愛媛	同志社	2	甲南	10	大阪基督	17	職業訓練大	1	大阪府	2		
高知	同志社女	3	甲南女子	5	大阪女院	3	大 公 衆 衛 生	6	大阪府	3		

# 図 書 館

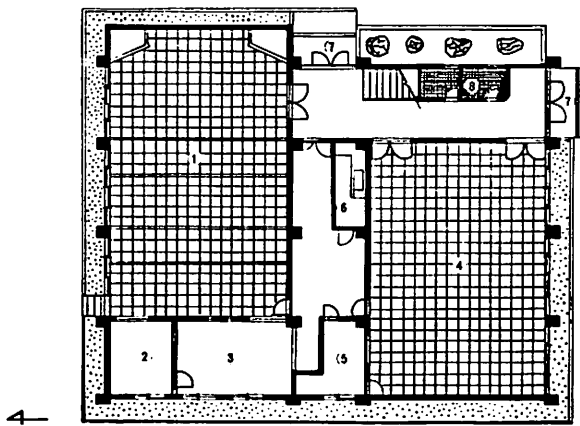
図書館平面図



2 F 図 書 館

- ① 閱 覧 室
- ② 司 書 室
- ③ 番 庫
- ④ 入 口
- ⑤ 非 常 階 段

視聴覚教室・講義室平面図



1 F 視聴覚教室・講義室

- ① 視聴覚教室
- ② 録 音 室
- ③ 映 写 室
- ④ 講 義 室
- ⑤ 準 備 室
- ⑥ 暗 室
- ⑦ 入 口
- ⑧ 便 所

## 建 築 概 要

鉄筋コンクリート2階建

竣 工 昭 和 46 年 3 月 28 日

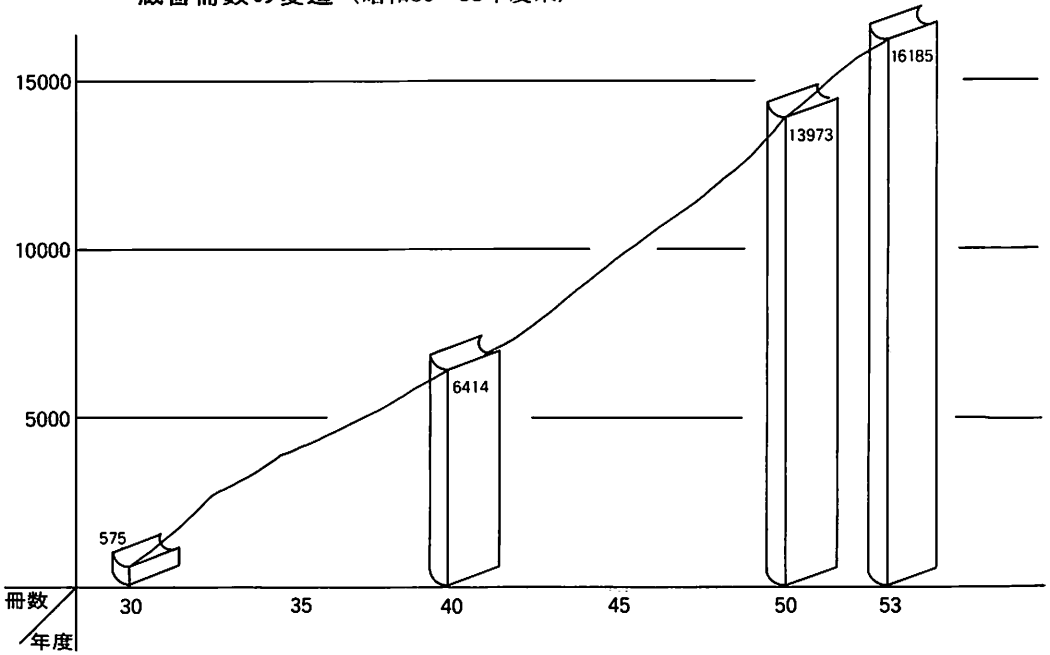
建築延面積 619.743㎡

1 F 視聴覚教室・講義室 316.014㎡

2 F 図 書 館 303.729㎡

収容人員 93名 収架冊数 11,000冊

蔵書冊数の変遷（昭和30～53年度末）



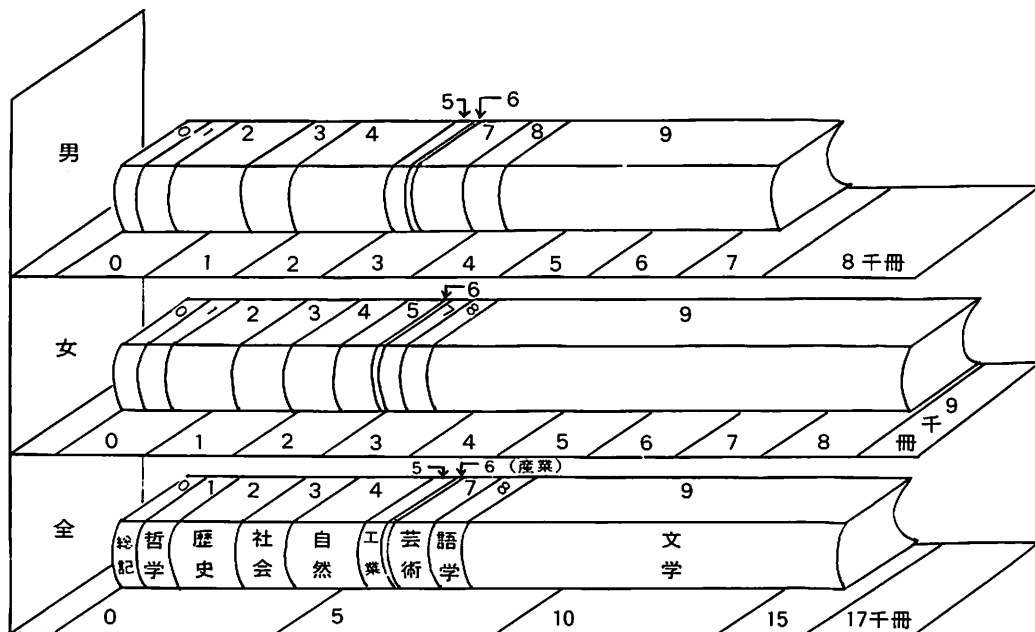
分類別蔵書冊数（昭和53年度末）

計16,185冊





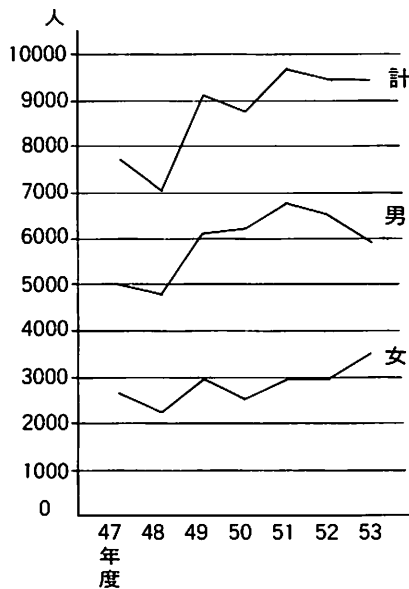
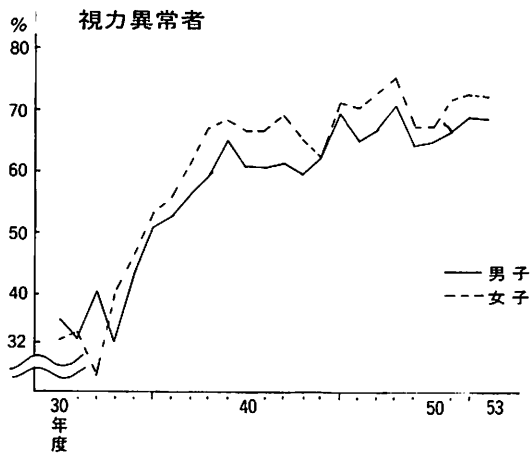
館外帯出冊数（分類・男女別）（昭47.～53）

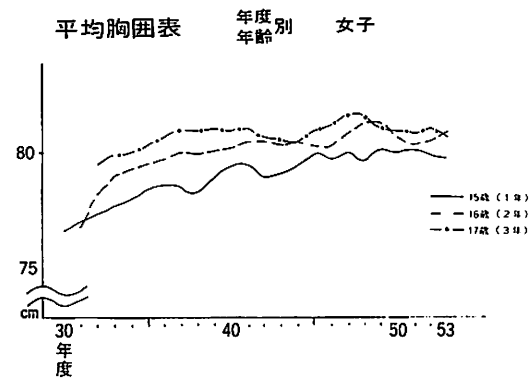
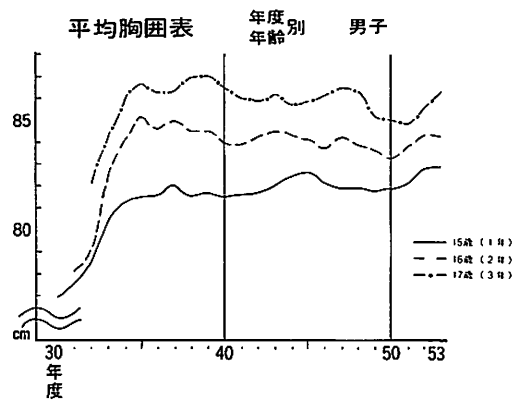
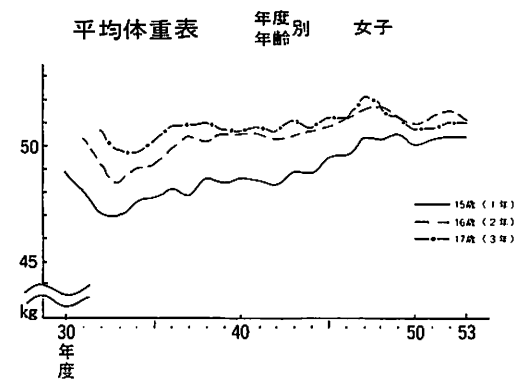
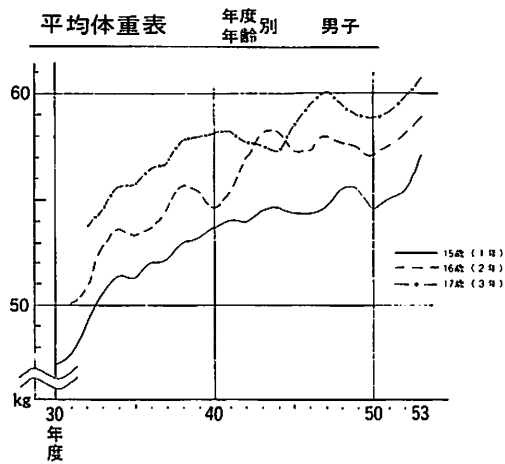
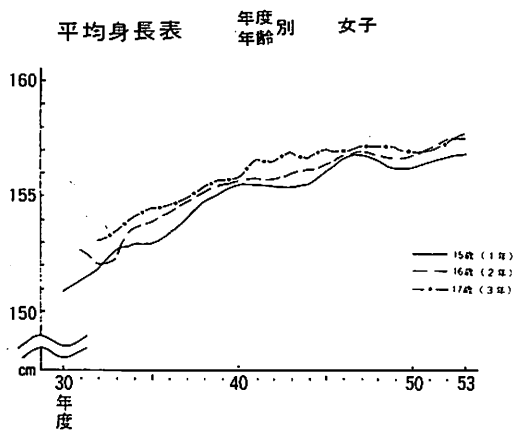
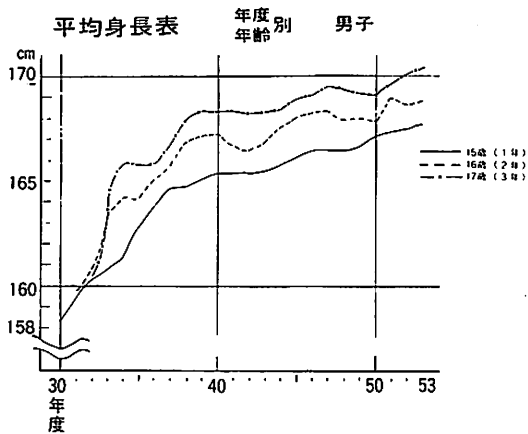


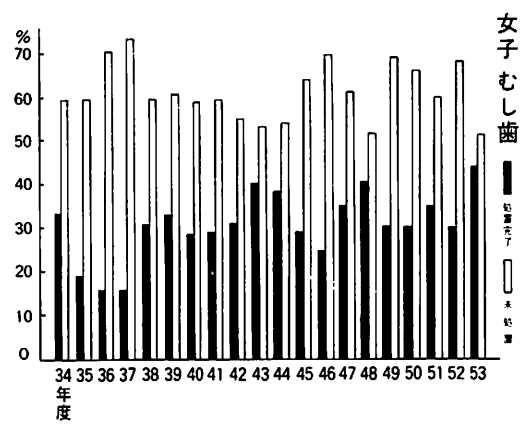
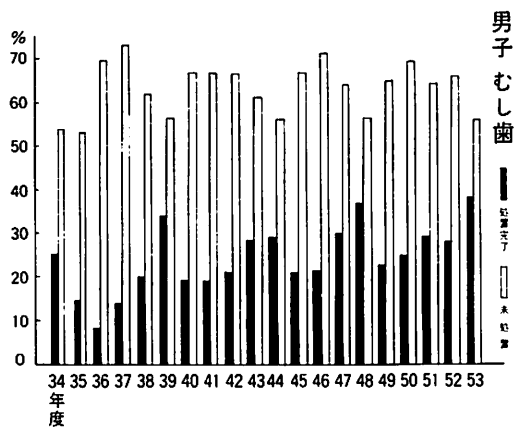
入館者数

(但、月曜～金曜の昼休み及び放課後のみ)

保健







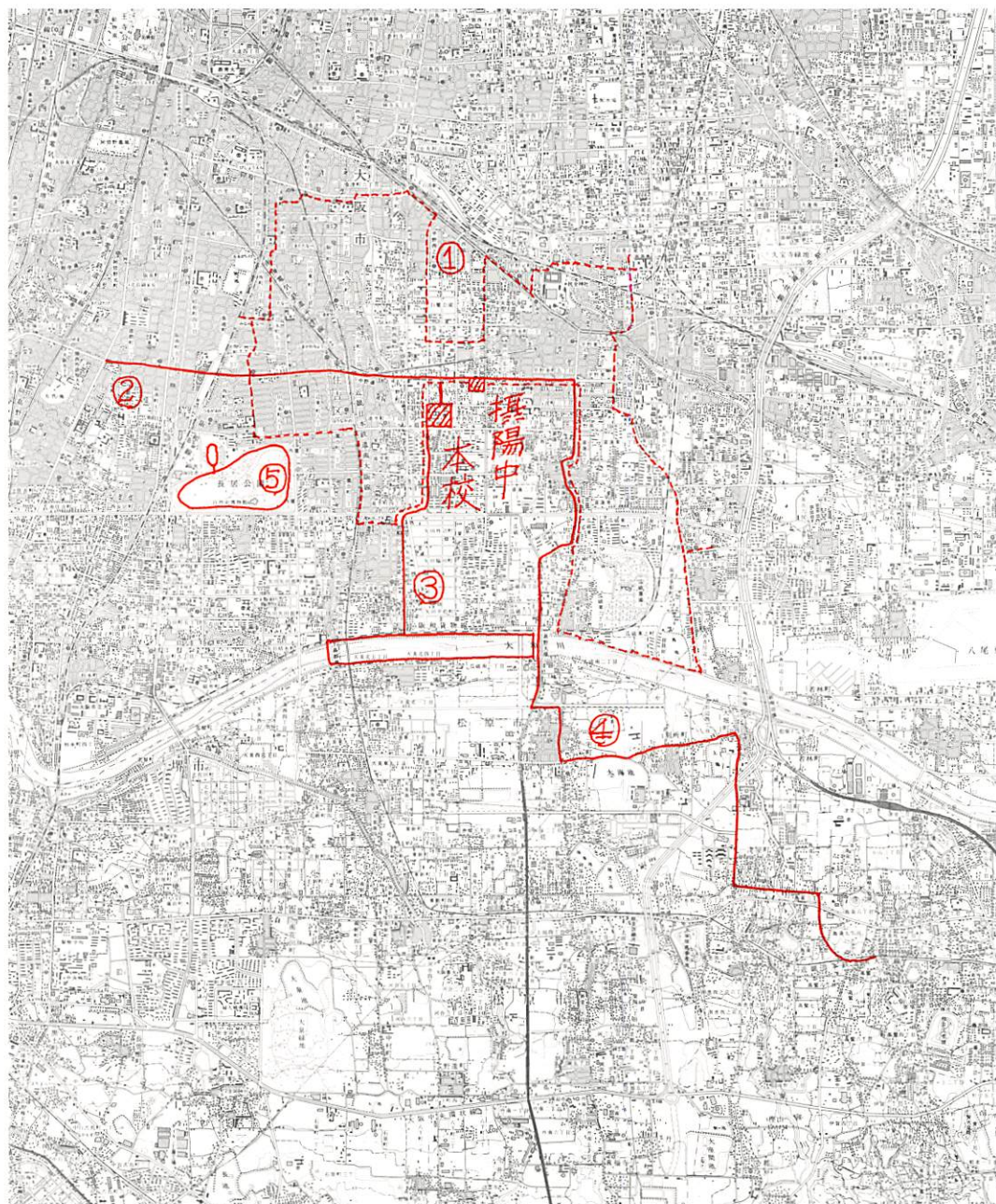
### 陸上競技記録

(54.4.1現在)

	種 目	記 録	卒業期	氏 名
男	100 m	分 10 <sup>秒</sup> 9	4	岩 崎 肇
	200 m	23" 2	3	二 野 勇
	400 m	51" 0	17	山 田 哲 央
	800 m	2 <sup>分</sup> 2" 0	13	岸 本 善 文
	400 H	55" 0	16	葉 山 尚 久
	110 JH	14" 6	4	三 宅 克 宏
	200 JH	24" 8	4	三 宅 克 宏
	800 R	1' 33" 9	8・9	谷信、北垣敏孝、瀧住寿彦、東隆夫
	1600 R	3' 2" 0		
	5 種	2793点	9	谷 信
	走 幅 跳	6 <sup>m</sup> 69	24	上 村 裕 宣
	走 高 跳	1 90	20	林 泰 樹
	三 段 跳	13 53	4	三 宅 克 宏
	棒 高 跳	4 10	12	杉 中 俊 夫
	円 盤 投	42 81	8	西 川 恵 造
	槍 投	54 83	4	平 井 政 温
	ハンマー投	60 11	8	西 川 恵 造
	女	100 m	分 13 <sup>秒</sup> 9	14
400 m		1' 4" 5	22	多 田 薫
800 m		2' 20" 4	22	多 田 薫
100 H		16" 6	20	梁 千 賀 子
走 幅 跳		5 <sup>m</sup> 12	5	西 恵 美 子
走 高 跳		1 47	5	西 恵 美 子
円 盤 投		28 10	12	水 口 慶 子
槍 投		31 64	23	中 西 小 百 合

# 長距離競走コース

- ① 中学訪問駅伝
- ② 播磨町コース
- ③ 大和川コース
- ④ 藤井寺コース
- ⑤ 長居コース



## クラブ活動

昭和31年度	陸上部	全国大会出場2名
昭和32年度	陸上部	全国大会出場4名・棒高跳2位入賞、東西対抗出場1名
昭和33年度	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞受賞
	美術部	全日本油絵コンクール入選6名
	陸上部	全国大会出場1名
昭和34年度	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞受賞
	美術部	全日本油絵コンクール入選6名
	陸上部	全国大会出場6名、国体出場2名・110m J・H優勝
昭和35年度	陸上部	近畿大会総合2位、全国大会出場10名・総合5位・110m J・H優勝、100m優勝・200m H優勝・100m 3位・やり投5位、東西対抗出場3名・110m J・H優勝、国体出場4名・110m J・H優勝
	美術部	全日本学生油絵コンクール最優秀校奨励賞・特賞1名・入賞4名・入選16名
昭和36年度	陸上部	全国大会出場4名、東西対抗出場1名・棒高跳5位入賞、国体出場2名
	ハンドボール部	大阪府民体育祭優勝、近畿総合大会3位
	美術部	全日本学生油絵コンクール入選11名
昭和37年度		全国学生競書大会団体全国準優勝・個人特別賞5名、全国学生書芸展団体優良校・個人特別賞6名
	陸上部	全国大会出場2名、国体出場1名
	水泳部	全国大会出場1名、国体出場1名
	女子バスケット部	大阪高校大会3位、近畿大会出場
	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞
	美術部	全日本学生油絵コンクール・入賞2名・入選13名
昭和38年度	書道部	全日本学生書初展・学校賞・個人特別賞3名、全国学生競書大会・団体全国準優勝・個人特別賞5名
	陸上部	全国大会出場1名、国体出場1名
	ハンドボール部	近畿大会出場、全国大会出場
	水泳部	全国大会出場1名
	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞
	書道部	全国競書大会・団体準優勝・個人特別賞7名
昭和39年度	陸上部	近畿大会総合3位、全国大会出場8名
	剣道部	大阪府高等学校剣道優勝大会3位、近畿大会出場7名
	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞
昭和40年度	美術部	全日本学生油絵コンクール入選5名
	書道部	第16回府下高校書道展・団体賞・特別賞2名
	陸上部	全国大会出場

昭和41年度	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞	
	美術部	全日本学生油絵コンクール入選6名	
	書道部	第17回大阪府高校書道展・団体賞、第17回全国学生競書大会・準優勝・読売新聞社賞1名、第10回学生書初展・学生賞・会長賞1名	
昭和42年度	美術部	全日本学生油絵コンクール入選5名	
	書道部	第18回大阪府高校書道展・知事賞1名・毎日新聞社賞1名・研究会賞5名、第18回全国学生競書大会・準優勝	
昭和43年度	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞	
	美術部	全日本学生油絵コンクール・入賞2名・入選6名	
	書道部	第19回大阪府高校書道展・市長賞1名・読売賞1名・研究会賞1名 第19回全国学生競書大会・団体優秀賞・会長賞1名・努力賞2名 奨励賞2名	
	陸上部	全国大会1名	
	山岳部	近畿大会出場	
	サッカー部	近畿大会出場	
	重量挙げ部	全国大会出場	
	昭和44年度	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞
		美術部	全日本油絵コンクール・入賞2名・入選5名
書道部		第20回大阪府高校書道展・団体賞・知事賞1名・読売賞1名・研究会賞2名、第20回全国学生競書大会・団体優勝	
陸上部		全国大会出場1名	
山岳部		近畿大会出場	
体操部		近畿大会出場1名	
昭和45年度	生物研究部	研究発表・大阪府教育委員会賞	
	美術部	全日本油絵コンクール入選5名	
	書道部	第21回大阪府高校書道展・団体賞・特別賞・研究会賞8名・大阪府教育委員会賞1名・毎日新聞社賞1名、第21回全国学生競書大会・東京都教育委員会賞1名・努力賞2名・奨励賞1名	
	陸上部	全国大会出場1名	
	山岳部	近畿大会出場	
	水泳部	全国大会出場1名	
昭和46年度	美術部	全日本油絵コンクール・佳作賞他入選多数 第3回西日本高校生作品展・入賞3名・入選多数	
	書道部	大阪府書道展に出品、大阪府高校席書会出席	
昭和47年度	美術部	全日本油絵コンクール・優秀賞・一位入選	
	書道部	大阪府書道展に出品、大阪府高校席書会出席	
	陸上部	全国大会出場1名	
	山岳部	インターハイ出場4名	
	水泳部	全国大会出場1名	
	ホーン下部	大阪府優秀選手	

昭和48年度	美術部	「緑と花を描く会」・知事賞・サンケイ新聞社賞 全日本油絵コンクール・入選多数
	書道部	大阪府高校書道展出品、大阪府高校席書会出席
	陸上部	全国大会出場1名
昭和50年度	重量挙部	インターハイ出場1名、近畿大会出場5名
	美術部	全日本油絵コンクール・入選多数、西日本女子高校作品展・入賞6名
	書道部	大阪府高校書道展に出品、大阪府高校席書会出席
昭和51年度	陸上部	近畿ジュニア大会7名出場
	重量挙部	インターハイ出場4名、近畿大会出場4名
	体操部	春季総合体育大会2部・男子個人総合優勝・同2位 1・2年生大会(2部)・女子個人総合3位・種目別段違平行棒優勝
昭和52年度	美術部	全日本学生油絵コンクール・入賞1名・入選13名 全大阪高校美術工芸展出品15名
	数学研究部	大阪府統計グラフコンクール第一部入賞
	ブラスバンド部	関西吹奏楽コンクール府大会・鑑賞、関西アンサンブルコンテスト府大会・クラリネット四重奏金賞・フルート二重奏銅賞
	体操部	春季総合体育大会(2部)・女子個人総合5位、大阪選手権大会・女子個人総合5位、大阪府民大会・女子個人総合6位、大阪総合体育大会(2部)女子団体総合5位
昭和53年度	数学研究部	大阪府統計グラフコンクール(第4部)全作品入賞
	美術部	全日本学生油絵コンクール出品7名 府下第7学区高等学校美術展出品20名
	書道部	全国硬筆習字展覧会・全国準優勝
	ブラスバンド部	関西吹奏楽コンクール府大会・銅賞、関西アンサンブルコンテスト府大会・クラリネット四重奏銀賞・金管アンサンブル銅賞
昭和54年度	体操部	1・2年大会・男子個人総合4位・種目別男子鞍馬優勝・同男子平行棒2位
	数学研究部	大阪府統計グラフコンクール第4部入賞
	美術部	全日本学生油絵コンクール出品5名・入選5名・賞候補1名 全大阪高校美術工芸展・出品13名・推奨1名 府第7学区高校美術展出品13名
	写真部	大阪府農業協同組合会主催写真コンクール・銀賞
昭和54年度	書道部	全国硬筆習字展覧会・会長賞・文部大臣賞
	ブラスバンド部	関西吹奏楽コンクール府大会銀賞
	放送部	第26回NHK杯全国高校放送コンテスト、ラジオ番組製作部門大阪府予選第1位(大阪府代表)
	陸上部	大阪大会棒高跳優勝、入賞2名。近畿大会出場3名

## 卒業記念品一覧

1期生	記念植樹、天幕一張、記念碑
2期生	記念植樹、天幕一張
3期生	記念植樹、天幕二張
4期生	記念植樹、天幕三張、 電気時計一基
5期生	記念植樹、天幕
6期生	記念植樹、テレビ一台 水銀燈二基、時計一台
7期生	記念植樹、時報装置
8期生	記念植樹、水銀燈一基
9期生	記念植樹、藤棚一基
10期生	銀杏並木、幕一揃、温度計
11期生	記念植樹
12期生	視聴覚室用幕
13期生	視聴覚室用幕、中庭用ベンチ

14期生	藤棚一基、キャンプ用テント二張
15期生	テレビ一台、キャンプ用テント二張、親子標準時計一式
16期生	視聴覚教室用カラーテレビ一台、 生徒用ウォータークーラー一台、 電波時計一基
17期生	カラービデオ
18期生	式場用略旗
19期生	放送BGM装置一台 キャンプ用テント一張
20期生	中庭用ベンチ五脚、キャンプ用テント一張、印刷用ファックス一台
21期生	緑化積み立て
22期生	緑化積み立て

## 現職員

氏名	担当	着任年月
北 辻 要	校長	54・4
志々田 邦 明	教 頭	53・1
青 谷 正 磨	国 語	40・4
井 上 幸 夫	"	48・4
江 原 基 雄	"	50・4
田 中 勝	"	"
河 野 陽 子	"	51・4
田 村 恵 子	"	"
富 田 明 嗣	"	"
西 野 小 枝 子	"	52・4
藤 井 吉 雄	"	"
道 田 芳 伸	"	"
天 岸 美 子	"	54・4
田 代 徹 也	社 会	37・4
大 塚 隆	"	40・4
角 森 雍 次 郎	"	45・4
奥 舎 憲 雄	"	46・4
森 下 健	"	49・4
粟 屋 善 博	"	50・4

氏名	担当	着任年月
高 辻 道 久	社 会	50・4
清 富 佐 子	"	52・4
清 水 茂 勝	"	53・4
水 野 行 範	"	"
山 本 教 彦	"	54・4
筒 井 謙 二	数 学	32・4
広 瀬 武 成	"	"
船 津 末 年	"	35・7
福 村 修 一	"	39・4
森 本 憲 夫	"	"
水 谷 豊	"	40・4
武 藤 剛	"	"
田 中 健 一	"	47・4
井 上 保 治	"	49・4
喜 多 啓 二	"	53・4
山 田 純 子	"	"
井 手 ゆ り 子	"	54・4
森 嶋 徳 文	理 科	40・4
吉 田 正 博	"	"



氏名	担当	担任年月
五島満朗	理科	48・4
小川孝三	"	49・4
兵庫将夫	"	"
塚田士信	"	50・4
中条健次	"	53・4
松浦紀彦	"	"
村上陽子	"	"
石上知良	"	54・4
中田昌実	"	"
保田光男	保体	30・4
岡田淑子	"	32・4
武田透	"	38・4
片山尚美	"	39・4
根本七郎	"	42・4
高木孝司	"	47・4
浜村茂	"	49・4
田中章夫	"	52・4
安福茂	"	53・4
坂元秀孝	音楽	42・4
赤堀修一	書道	46・9
山崎博	美術	46・10
吉門章	英語	32・4
小林義次	"	38・4
押村利明	"	46・4
山本真次	"	47・4
柿沼皋	"	49・4
田口順一	"	"
吉川盛久	"	"
柴山恵子	"	50・4
植阪千衣子	"	51・4
藤田一郎	"	"
松川暉	"	52・4
西内裕子	家庭	30・4
木島啓子	養護	52・4
茨木美代子	家庭	30・4
高井郁子	生物	34・4
小松聡子	理科	39・4
茶谷治子	図書	39・6
吉川豊子	教務	48・4

氏名	担当	担任年月
三好実	事務長	51・1
東元由美子	主事	39・4
杉村友子	"	42・4
本多美津子	"	46・4
加久田裕之	"	47・4
田中一人	"	54・4
加藤三知代	"	54・5
野並利雄	技師	44・3
杉田悦太郎	技能員	49・4
松本庄三	"	54・4
岸田恵美	講・家	50・4
大木良二	講・国	53・4
松井義一	講・理	"
梅谷克己	講・社	54・4
榎本義幸	講・社	"
塩見順一	講・英	"
藤原泰	講・英	"
森秀樹	講・美	"
山本健二	講・音	"
村田進	学校医	50・4
大崎波真治	歯科医	36・10
大迫昌三	薬剤師	48・4

## 旧職員

氏名	担任	退任	担当
新谷浩雄	30・7	31・3	講・英
田中万美子	30・5	31・3	講・音
安井陽子	31・9	31・11	講・家
杉岡正美	30・7	32・12	講・書
狩田義次	31・12	33・3	講・書
森口博子	30・4	33・3	事務
池辺義教	31・4	33・4	講・社
小野雄三	30・4	33・4	教頭

氏名	着任	退任	担当	氏名	着任	退任	担当
上野久男	33・1	34・3	講・書	中村泰三	38・4	39・3	講・社
西野(吉年)幸子	33・4	34・3	生・助	安賀(細川)方子	34・4	39・3	国語
南要太郎	33・4	34・3	事務長	矢野清	30・9	39・3	数学
山口博	33・4	34・3	講・社	吉田嘉高	30・5	39・3	社会
加藤文雄	30・11	34・4	事務	吉備敬三	39・9	39・10	講・社
原納淳	33・4	34・4	講・書	中村洋三	39・9	39・10	講・社
赤井キヨミ	33・4	34・5	講・家	日下義忠	33・4	40・3	数学
泉悌二	33・4	35・3	英語	中村雅枝	39・4	40・3	講・国
門野悦子	31・4	35・10	化・助	西上富子	39・4	40・3	講・家
赤尾(杉本)多美	34・5	36・3	講・家	西川純一	32・4	40・3	国語
市川武彦	32・4	36・3	事務	保木幸雄	34・4	40・3	理科
大柴繁	34・4	36・3	英語	三浦歆济	39・4	40・3	講・英
森淑子	35・5	36・3	講・体	港博	38・4	40・3	理科
秦野節司	31・4	36・7	講・生	宮井隆	34・4	40・3	社会
藤垣衣子	36・9	36・12	講・家	谷勲	38・10	41・3	美術
嶋野(高野)充恵	35・11	37・1	化・助	榑川浩男	40・4	41・3	講・国
宇田章	34・11	37・3	事務	西野健	38・5	41・3	体育
馬場文子	36・5	37・3	講・家	平瀬昭宣	40・5	41・3	講・社
松平進	34・5	37・3	講・国	実生(宗方)輝	39・4	41・9	国語
宮崎彰夫	34・5	37・3	講・書	宮内(福原)千恵子	36・4	41・3	事務
堀江駒太郎	30・4	37・4	校長	山田信夫	30・5	41・3	事務
小松素彦	34・4	37・8	社会	井須隆一郎	41・4	41・11	講・国
大山豪	37・4	38・3	講・数	天野浩	33・4	42・3	体育
倉西博之	32・4	38・3	国語	栗本栄三	30・7	42・3	英語
中洲陽一	31・4	38・3	化学	蓮池(柿本)廣子	33・4	42・3	事務
吉田由太郎	37・4	38・3	英語	小林喬	35・4	42・12	英語
松本晃	32・4	38・3	体育	杉江正美	32・7	42・3	音楽
山岸正孝	33・4	38・3	生物	橘昭信	41・4	42・3	講・美
杉山治	36・9	38・4	事務	橋本久弥	32・4	42・3	理科
松本勝	36・10	38・6	講・化	広田久夫	30・4	42・3	数学
立石勉	38・5	38・7	講・体	山城芳子	40・4	42・3	講・国
切畑健	38・4	38・8	講・美	葭原泰雄	37・4	42・3	校長
梅本典子	36・4	39・3	事務	伊藤(立道)清美	38・9	42・9	事務
小笠原京子	38・11	39・3	講・化	大島久直	42・11	43・1	講・理
樫野尚	38・4	39・3	講・数	辻彌	42・4	43・3	英語
周藤延雄	38・4	39・3	講・数	豊永彰	35・4	43・3	英語
高橋哲也	33・4	39・3	国語	赤尾整志	32・4	43・7	理科
竹下(田中)貞子	37・1	39・3	化・助	伊藤友二	43・5	44・3	講・体
土田田鶴子	38・4	39・3	家庭	太田捷昭	41・4	44・3	講・体

氏名	籍任	退任	担当	氏名	籍任	退任	担当
辻内(川端)晴美	41・4	44・3	教務	渡壁信子	48・2	48・3	講・国
榊 筈 隆 弘	42・4	44・3	講・理	原 田 研 一	40・4	48・3	理 科
藤 原 清 二	35・4	44・3	技能員	石 井 俊 郎	48・9	48・10	講・理
三 木 雅 文	32・4	44・3	社 会	井 上 良 治	45・4	48・10	教 頭
福 井 信 介	44・10	44・12	講・社	江 頭 美 和	48・9	48・10	講・理
斎 藤 貫	42・4	45・3	校 長	伊 藤 茂	48・10	48・12	講・国
末 光 文 雄	39・4	45・3	国 語	尾 方 有 智 子	48・10	48・12	講・国
藤 田 幸 生	39・4	45・3	英 語	多 田 正 寿	48・10	48・12	講・
前 田 史 夫	37・9	45・3	社 会	室 井 勝 弥	34・4	49・1	体 育
行 竹 英 雄	44・4	45・3	講・社	北 守 彦 雄	37・1	49・2	理 科
横山(茨木)芳子	44・4	45・3	講・社	清 水 雅 代	48・10	49・3	講・
渡 辺 博 美	42・9	45・3	事 務	岡 本 昇	30・4	49・3	英 語
太 田 元 康	36・4	45・4	薬剂師	奥 野 健 男	48・4	49・3	数 学
東 野 勇	41・4	45・9	事務長	篠 田 映 一	39・4	49・3	数 学
大 石 恵 子	44・5	46・3	教 務	畑 田 勇	48・4	49・3	理 科
岡 本 修 治	38・4	46・3	理 科	早 川 雄 一 郎	47・4	49・3	数 学
河 合 世 津 子	43・11	46・3	講・国	藤 原 美 代 子	48・4	49・3	養 護
堂 山 浩	40・4	46・3	英 語	安 森 謙	45・4	49・3	英 語
増 田 利 弘	40・4	46・3	講・社	松浦(山崎)矩子	48・4	49・3	講・英
町 淑 子	41・10	46・3	国 語	山 中 茂 樹	48・4	49・3	英 語
川 崎 吾 一	37・4	46・5	書 道	吉 野 勇 二	41・4	49・3	社 会
大黒(常井)賀津子	46・6	46・7	書 道	山 野 正 澄	32・4	49・4	技能員
矢 野 喜 久 男	32・4	46・9	美 術	篠 原 和 雄	49・4	49・11	講・国
岩城(沖田)マリ	46・10	46・12	講・国	西 谷 泉	49・9	49・11	講・数
阿 部 保 男	33・4	47・3	数 学	山 本 佳 顕	49・9	49・11	講・数
岡 垣 脩	43・7	47・3	理 科	藤 原 郷 子	49・10	49・12	講・国
大谷(栗栖)まり子	46・4	47・3	国 語	大 谷 雄 一	45・4	50・3	社 会
三 田 清 志	44・4	47・3	講・体	河 口 悦 子	49・4	50・3	講・書
西 田 外 志 江	46・4	47・3	社 会	木 下 透	38・4	50・3	国 語
堀 田 義 一	31・1	47・3	英 語	国 貞 祐 一	37・10	50・3	国 語
吹 上 健 次	41・6	47・4	事 務	竹 村 茂	49・4	50・3	体 育
林 佳 二	47・10	47・11	講・英	津 田 雄 三	43・4	50・3	英 語
入 江 昌 明	47・4	48・3	講・国	徳 本 正 孝	49・4	50・3	講・美
太 田 靖 彦	45・4	48・3	薬剂師	土 井 武 文	43・4	50・3	英 語
亀 田 弘	34・4	48・3	数 学	中 原 晃 雄	33・5	50・3	社 会
斎 藤 暁	38・4	48・3	理 科	西 尾 呉 郎	34・4	50・3	校 医
染 田 一 郎	34・9	48・3	国 語	平 野 愛 子	45・5	50・3	事 務
高 木 隆	39・4	48・3	校 長	福 村 勝	49・4	50・3	講・理
滝 本 哲 夫	45・4	48・3	国 語	藤 原 修	49・4	50・3	講・社

氏名	着任	退任	担当	氏名	着任	退任	担当
寺川(丸岡)節江	49・4	50・3	講・国	村田清	51・4	52・3	事務
宮島一彦	49・4	50・3	講・理	中筋重時	51・10	52・3	講・国
湯浅明	39・4	50・3	理科	今井敬治	52・1	52・3	講・理
横山篤夫	40・4	50・3	社会	坂部裕司	52・1	52・3	講・理
後藤鎮義	50・4	50・7	講・国	三田(室井)和美	49・4	52・8	数学
塚本盛治	30・4	51・1	理科	山内種也	48・11	53・1	教頭
高橋実太郎	45・10	51・1	事務長	中島啓子	46・4	53・3	理科
山路孝司	50・11	51・3	講・国	河野明	47・4	53・3	社会
伊藤義臣	38・4	51・3	事務	川原久衛	50・4	53・3	理科
木村好孝	47・4	51・3	英語	東本光弘	51・4	53・3	講・社
小西顕治	49・4	51・3	講・社	和田国昭	51・4	53・3	講・国
竹内清	30・8	51・3	国語	井上博之	51・4	53・3	講・数
田中淑	48・4	51・3	数学	森下久雄	52・9	53・3	講・数
中谷繁	33・4	51・3	英語	松尾晓子	53・1	53・8	講・国
坂上(橋本)万里子	48・4	51・3	国語	池田実穂	50・5	53・12	事務
深谷實	39・4	51・3	国語	菊池通夫	48・4	54・3	校長
岩崎万貴子	50・4	50・1	講・国	中原圓	47・4	54・3	理科
江畑清二郎	50・4	51・3	講・英	鈴木広志	52・4	54・3	社会
岡村一人	50・4	51・3	講・理	原満重	49・4	54・3	技能員
小堀一正	50・4	51・3	講・社	黒田昌彦	52・4	54・3	講・音
原ます子	50・4	51・3	講・社	丸橋陽一	52・9	54・3	講・数
宮田隆夫	45・4	51・3	講・理	永田正美	53・4	54・3	講・英
北広男	51・1	51・3	講・数	小林千春	53・4	54・3	講・社
阪上明人	51・2	51・3	講・英	竹原秋夫	52・4	54・5	事務
大栗安紀子	51・5	51・10	講・国				
藤井美智子	50・4	52・2	講・国				
鶴見光雄	30・4	52・3	国語				
奥本信太郎	30・5	52・3	技能員				
田中譲	39・4	52・3	社会				
久保(井上)淳子	47・4	52・3	国語				
渡辺宗治郎	48・4	52・3	体育				
中村繁子	49・4	52・3	養護				
重永泰昭	50・4	52・3	講・理				
芝野新	50・4	52・3	社会				
竹谷みどり	50・4	52・3	講・音				
西井由利子	50・4	52・3	講・国				
野本明成	51・4	52・3	講・社				
橋本章	51・4	52・3	講・数				
				物故者			
				大島明雄		岩本明	
				山中善一		榎野馨	
				伊藤美代子		三好三郎	
				北村福子		柚本光三	
				稲葉安栄		肥田耕也	
				浦野卯一郎		吉川進一	
				菊池英次		尾北裕彦	

## 歴代PTA会長

昭和30年度	片岡善四郎
昭和31年度	片岡善四郎
昭和32年度	片岡善四郎
昭和33年度	樋口治一
昭和34年度	樋口治一
昭和35年度	浅井賢次
昭和36年度	新野米藏
昭和37年度	浅井賢次
昭和38年度	水野清龟
昭和39年度	吉永太四郎
昭和40年度	植田平治
昭和41年度	吉永太四郎
昭和42年度	池田衛
昭和43年度	米田良男
昭和44年度	木下友治
昭和45年度	津江孝夫
昭和46年度	岩崎英一
昭和47年度	吉田寅太郎
昭和48年度	岩崎英一
昭和49年度	笹井清
昭和50年度	岩崎英一
昭和51年度	田中政輔
昭和52年度	赤鹿義治
昭和53年度	山田裕三

## 昭54年度PTA役員

会	長	豊田静彦	
副	会	長	大沢宏行
	"	谷口康子	
書	記	和田一郎	
	"	吉田正博	
会	計	鮒田正克	
	"	船津末年	
会	計	監査委員長	堅田君穂

企画厚生委員長	今坂正典
同和教育委員長	中田貞昭
進路指導委員長	中村菊子
生活指導委員長	平畑勝重
環境整備委員長	花川豊吉
第三学年委員長	吉原和夫
第二学年委員長	原田哲朗
第一学年委員長	樋口俊治

## 歴代みどり会会長

昭和35年~47年	樋口治一
昭和48年~51年	浅井賢次
昭和52年度	田中政輔
昭和53年度	赤鹿義治
昭和54年度	山田裕三

## 緑友会の夢

緑友会(同窓会)会長

辻拓也  
(一期生)

本年は東住吉高校創立25周年を迎えて、記念誌を発刊されることになりました。まことに意義深いことであります。

私達一期生が摂陽中学校庭の一角にトタン屋根のバラック校舎で、産声あげて、早や25年夢のように過ぎ去りました。

当時は間借り生活で、校舎も運動場もなく先生と生徒だけの寺小屋のような感じでした。田んぼの真中で新校舎建設のため、放課後に先生方ともっこをかついで、整地をしたりして、汗と泥にまみれた3ヶ年を過ごしました。私にとっては東住吉高は生涯忘れることのできない学び舎なのです。

阿文雅

英知

獨立